

は し が き

この消防年報は、平成28年中における会津若松地方広域市町村圏整備組合の現勢と消防に関する各種資料を収録し、消防防災行政を広く紹介することを目的として編集したものです。

なお、火災・救急・救助の統計については暦年により、その他の関係業務事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日を明示したものは、その時点での現況です。



【平成28年8月28日 福島県総合防災訓練】

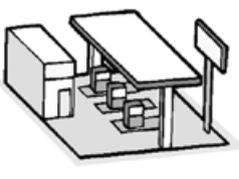
会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

一 目 統 計

			
面 積	人 口	世 帯 数	人 口 密 度
1,992.31km ² (構成：1市7町2村) 約6.97km ² (職員一人当り管轄面積)	人口 188,040人 うち男性 90,024人 うち女性 98,016人	71,950世帯	約 94.4人 (1km ² 当り人口) 約 657.48人 (職員一人当り管轄)

				
署 所	消 防 職 員	消 防 車 両	特 殊 車 両	緊 急 消 防 援 助 隊 登 録 部 隊
消防本部 1 消防署 4 分 署 1 出張所 7	条例定数289人 現員 286人 (ほか短時間 再任用12人) 平均年齢 35.2歳 平均勤続年数 14.0年	ポンプ車 20台 救急車 18台 (うち高規格救急車7台)	水 槽 車 1台 化 学 車 1台 梯 子 車 1台 救助工作車 1台 支 援 車 1台 資材搬送車 1台 無線中継車 1台	救 急 隊 4隊 消 火 隊 6隊 特殊装備隊 1隊 救 助 隊 1隊 後方支援隊 2隊

				
火 災	出 火 原 因	火 災 に よ る 死 傷 者	火 災 に よ る 損 害 額	焼 損 面 積
火災件数 61件 (内訳) 建物 30件 林野 2件 車両 6件 その他 23件	1位：放火の疑い 10件 2位：放火 5件 3位：こんろ 4件	死 者：4人 負 傷 者：15人	93,600 (千円) 1件あたり： 1,534 (千円)	建物床面積： 1,742m ² 建物表面積： 272m ² 林野： 24 a

				
救 急	救 助	災 害 通 報 受 理 件 数	防 火 対 象 物	危 険 物 施 設
出動件数 8,942件 搬送人員 8,707人 (搬送人員内訳) 急病 6,031人 交通事故 791人 その他 1,885人	出動件数：102件	固定電話 (119) 6,044件 携帯電話 (119) 2,898件 その他 720件	防火対象物数 7,256 対象物 (うち法8条対象物) 2,076 対象物 10階以上の建築物： 28棟	危険物施設数 1,109施設 (内訳) 製造所： 11 貯蔵所： 777 取扱所： 321

※ 平成29年4月1日現在(火災、救急、救助等件数及び災害通報受理件数にあっては平成28年中)

目 次

■ 総 括	1
■ 予 防	29
■ 危 険 物	37
■ 火 災	41
■ 警 防	51
■ 救 急	61
■ 機 械	69
■ 通 信	75
■ 消 防 団	87

総
括

予
防

危
険
物

火
災

警
防

救
急

機
械

通
信

消
防
団

～ 細 目 次 ～

総 括

位置及び地勢	1
消防の沿革	2
歴代消防長	14
歴代消防署長	15
面積・人口・世帯数	17
人口の推移	17
一般会計予算	18
消防予算の推移	18
消防庁舎等概要	19
1.本部・署所	19
2.無線施設	20
消防力の整備指針と現有勢力	21
組合機構図	22
消防職員配置状況	23
消防職員階級別勤続年数・年齢	24
消防職員免許資格等取得状況	25
消防職員教養状況	26
各種相互応援協定	27

予 防

予防行政について	30
防火対象物数	31
消防法第8条該当防火対象物数	32
立入検査状況	33
階数別防火対象物数	34
消防同意件数	35
消防クラブの状況	35

危険物

危険物行政について	37
市町村別危険物施設数	38
類別危険物施設数	39
市町村別危険物施設申請・届出数	40

火 災

火災状況	41
1.火災件数の推移	42
2.火災による死者等の状況	42
3.出火原因	43
4.焼損程度別出火件数	43
5.建物火災用途別内訳	43
6.住宅火災における発火源と出火箇所の関係	44
7.月別火災発生状況	45
8.時間別火災発生状況	45
平成28年火災総括表	46
昭和47年以降の主な火災事例	48

警 防

各種災害出動件数の推移	51
-------------	----

市町村別災害出動件数	52
月別火災出動件数	53
市町村別火災出動状況	53
月別救助活動状況	54
市町村別救助活動状況	54
救助件数の推移	55
その他の出動件数の内訳	56
月別出動状況	56
市町村別出動状況	57
磐越自動車道路死亡事故件数	58
緊急消防援助隊	60

救 急

救急出場件数及び搬送人員の推移	61
最近10年間の救急出場件数の推移(署管内別)	62
傷病程度別・年齢区分別搬送人員	63
市町村別救急出場件数	64
市町村別救急搬送人員	64
署所別救急出場件数	65
署所別救急搬送人員	65
現場到着所要時間別出場件数	66
収容所要時間別搬送人員	66
応急手当普及啓発状況	67

機 械

平成28年度導入車両	69
消防車両等の配置状況	72
配置車両一覧	73

通 信

通信指令の現況	75
災害通信体系	76
有・無線通信系統図	77
通信施設一覧	78
災害等通報取扱状況 (会津若松・喜多方消防指令センター)	80
災害等通報取扱状況(会津若松消防本部管内)	81
災害等通報取扱の推移(会津若松消防本部管内)	82
心肺停止状態における口頭指導状況	83
消防案内電話着信度数	84
消防団消防用無線設置状況	85

消防団

消防団の現況	87
消防団員数・車両装備状況	88
消防団員報酬額等の現況	88
年齢別消防団員数	89
勤続年数別消防団員数	89

会津若松地方広域市町村圏整備組合の概要

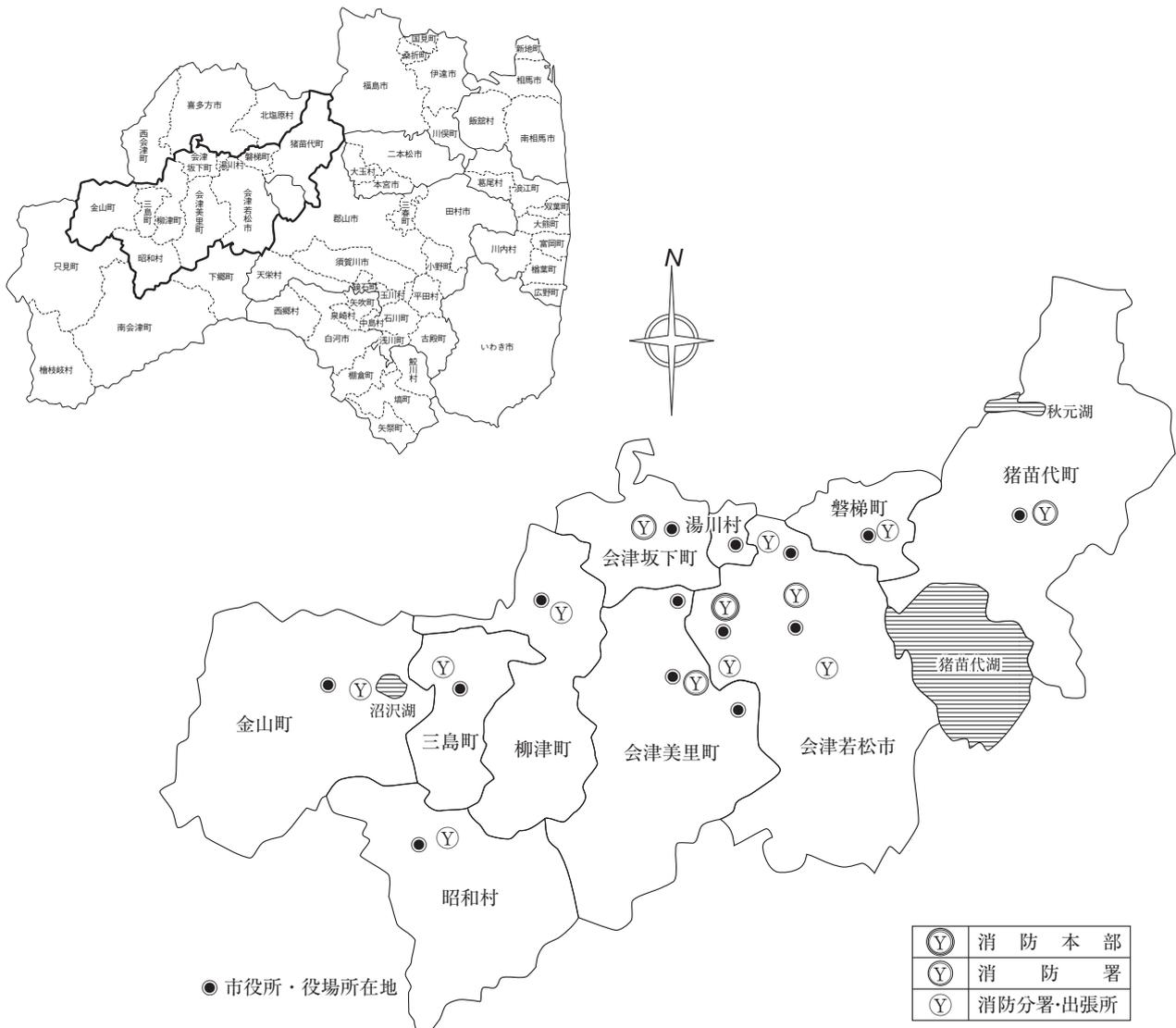
位置及び地勢

当組合は、福島県の西部にあり東経139°56'2"、北緯37°30'22"に位置し、会津若松市を拠点都市として、会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町の1市7町2村で構成されている。

圏域の中心部である会津若松市から首都東京まで約300km、県都福島市まで約110kmの地点であり、その面積は福島県総面積13,779.82km²の約13.9%を占める1,992.31km²を有する。

地勢は、中心部の会津若松市、会津坂下町、湯川村、会津美里町が平坦な会津盆地にあり、盆地の中央を一級河川阿賀川が南北に縦断している。圏域の東部の猪苗代町、磐梯町は古くから唄われる会津磐梯山の麓に位置し、西部の柳津町、三島町、金山町、昭和村は東西に山脈がはしり、豊富な森林、地下水の各資源を数多く有している。また、圏域の東部は日本で4番目の大きさを誇る猪苗代湖に接しており、リゾート地として東北でも有数の観光地でもある。

圏域図



消 防 の 沿 革

明治時代	明治初年	藩政時代の遺風を踏襲して、各町内に自身番（火消組）を組織
	ㄥ 23年	ポンプ4組、消防組6組を総員260人で組織
	ㄥ 27年	勅令発布により、公設消防組を改組。組頭1人、小頭20人、組員250人を10部に編成し、各部に腕用ポンプ1台を配置
	ㄥ 32年	組頭1人、小頭24人、組員300人で12部に改組
	ㄥ 39年	蒸気ポンプ1台購入配置
	ㄥ 30～45年	腕用ポンプ12台を購入、各部に配置
大正時代	大正 4年	消火器隊を各町内に組織
	ㄥ 5年	消火器隊を義勇消防隊と改称
	ㄥ 6年	ガソリンポンプ1台購入配置
	ㄥ 12年	市内篤家成田太助氏他9人の寄贈により自動車ポンプ1台配置 若松警察署と郵便局との間に火災専用電話設置
昭和前期	昭和14年	勅令により消防組防護団を合併、警防団に改組。警防団に常備消防本部を置く。部長以下14人、自動車ポンプ2台を配置。又団体本部内に庶務部、避難所管理部、警護部、配給部、工作部、消毒部、救護部、交通整理部を置き、全地域を52分団とした。
	ㄥ 18年	警防団本部の組織を改組し、庶務部、救護部、常備消防部の三部制を実施
	ㄥ 19年	消防団本部庁舎建設後援会の後援により、市内栄町210番地に庁舎新築
	ㄥ 22年	勅令により、警防団を消防団に改組
自治体 消防 時代	ㄥ 23年	消防組織法が施行され、自治体消防として発足、消防法施行される。
	ㄥ 24年	常備消防本部を廃し、消防本部、消防署を設置
	ㄥ 26年	北会津郡、町北町合併
	ㄥ 30年	湊村、一箕村、高野村、神指村、門田村、大戸村、東山村を合併し、会津若松市と改称
	ㄥ 31年	消防本部に消防専用無線電話（中短波）を設置
	ㄥ 32年	職員10人増員、消防長以下44人となる。
	ㄥ 33年	市役所屋上に火災報知用拡声施設を設置（出力240W）
	ㄥ 35年	消防庁舎建設協力会の協力により、旧庁舎を取り壊し庁舎建設に着手 少年消防クラブ誕生
	ㄥ 36年	鉄筋コンクリート2階建の消防庁舎竣工 総工費13,358千円、延面積695.32㎡、敷地面積572.44㎡
	ㄥ 38年	消防職員、消防長以下50人となる。
	ㄥ 39年	消防職員、消防長以下52人となる。専任消防長制度施かれる。 電話自動化（ダイヤル式）により119番設置
	ㄥ 40年	住居表示実施に伴い、消防本部、署の所在地は従来の栄町210番から栄町5番20号となる。 会津若松市消防署西出張所開設 所在地、湯川町5番41号、敷地面積1,712.105㎡、建物延面積169.77㎡ 消防職員、消防長以下59人となる。
	ㄥ 41年	会津若松市消防署の一部改正、6係、1救急隊、1出張所となり、救急業務を開始する。 消防職員、消防長以下66人となる。
	ㄥ 42年	会津坂下町及び猪苗代消防団常備部々員の初任教養を実施（委託教養）

自治体消防時代	昭和43年	猪苗代町消防団常備部々員の委託教養を実施 屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入配置 消防職員4人増員、消防長以下70人となる。
	ㄥ 44年	会津坂下町消防団常備部救急要員教養を実施（委託教養） 電話局4局設置に伴い、4局119番増設される。 斎藤号、ライオンズ号入魂式挙行、本部、署に配置 菊地司令補（当時消防士）町北町火災現場へ出動途上殉職、市内自在院にて消防葬を執行
広域消防準備時代	ㄥ 44.12.23	消防職員8人増員、消防長以下78人となる。
	ㄥ 45. 9.12	会津若松地方広域市町村圏促進協議会を結成
	ㄥ 46. 7. 3	会津若松市外13町村が広域圏に指定を受ける。
	ㄥ 46. 7.14	会津若松地方広域市町村圏設定協議書交換～設定（県知事と関係市町村）
	ㄥ 46.11. 5	広域市町村圏の基本構想、基本計画の作成開始
	ㄥ 47. 2.25	会津若松地方広域市町村圏協議会の廃止について各町村の議長に提案方要請するとともに、地方広域市町村圏整備組合の設立について議会に提案方規約を添えて要望した。
	ㄥ 47. 3. 1	会津若松市を除く13町村に対し、消防本部、署、義務設置町村政令指定の内定を受ける。
	ㄥ 47. 3. 7	昭和47年度における消防本部、署の消防施設及び人員整備計画を県消防防災課に提出
広域消防（組合消防）時代	ㄥ 47. 4. 1	福島県指令知第346号により、会津若松地方広域市町村圏整備組合の設立が福島県知事から許可される。 会津若松市を拠点都市として、北会津村、会津坂下町、柳津町、河東村、湯川村、会津高田町、本郷町、新鶴村、三島町、金山町、昭和村、猪苗代町、磐梯町の1市8町5村をもって「会津若松地方広域市町村圏整備組合」が設立され、同日組合消防が発足
	ㄥ 47. 4. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、署となる。 組合消防の発足に伴い、既設会津坂下町及び猪苗代町消防団常備部（消防自動車2台、救急自動車2台、人員24人）を吸収して1本部1署3出張所（消防自動車8台、救急自動車3台、人員98人）をもって広域消防業務開始 会津若松市消防長 松崎武勇 氏が組合消防発足とともに組合消防長に就任、消防正監に昇格
	ㄥ 47. 4.15	消防組織法第10条の規定により、会津若松市を除く組合構成13町村が自治省告示第106号により消防本部及び消防署を置かなければならない町村に指定
	ㄥ 47. 5.20	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 47. 6.15	昭和47年5月22・23日の両日にわたり実施した採用試験により、消防職員56人、事務吏員（女）2人の計58人を採用し、消防職員総数156人となる。
	ㄥ 47.12.25	組合消防署、会津高田出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積348.25㎡、工費20,140千円、敷地面積716.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置 組合消防署、昭和分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積110.18㎡、工費6,800千円、敷地面積510.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員3人を配置

広 域 消 防 （ 組 合 消 防 ） 時 代	昭和48. 1.15	<p>組合消防署、十文字、柳津、金山出張所開設 十文字出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積315.84㎡、工費19,148千円、敷地面積991.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>柳津出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費11,000千円、敷地面積383.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>金山出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費10,700千円、敷地面積495.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p>
	ㄥ 48. 2.10	社団法人日本自動車工業会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 48. 3.15	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防署に職員8人、会津高田出張所及び十文字出張所に各7人を増員配備
	ㄥ 48. 4. 1	昭和48年度分第一期消防職員26人を採用し、消防職員総数175人となる。
	ㄥ 48. 7. 1	昭和48年度分第二期消防職員18人を採用し、消防職員総数192人となる。
	ㄥ 49. 3.20	<p>組合消防署、猪苗代出張所、会津坂下出張所開設 猪苗代出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,040千円、敷地面積1,027.42㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員17人を配置</p> <p>会津坂下出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,940千円、敷地面積813.76㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 3.30	<p>組合消防署、小松出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積316.00㎡、工費22,640千円、敷地面積1,395.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 4. 1	組合消防署、レンジャー隊組織確立
	ㄥ 49. 4. 6	松崎消防長退職に伴い、新消防長 渡辺福利 氏就任
	ㄥ 49. 6.25	フロックマン教育実施される。(6日間)
	ㄥ 49. 8. 9	財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 49. 9.20	会津若松地方危険物安全協会から査察広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.10.26	会津磐梯ライオンズクラブから赤バイ（ホンダCD125K5型）3台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.11.28	東北電力(株)福島支店からレンジャー用訓練塔寄贈を受ける。 訓練用鉄塔建設、A塔18.4m、B塔19.2m
	ㄥ 51. 2. 6	速消車水-II型更新、本署に配備
	ㄥ 51. 3.31	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 51. 4. 3	<p>消防署、三島分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積971.20㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置</p>

広域 消 防 （ 組 合 消 防 ） 時 代	昭和51. 4.15	消防署、磐梯分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積729.37㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、赤バイ1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置
	ㄥ 51. 5.14	組合消防署、磐梯、三島分遣所合同竣工式挙行（於：会津若松市「今村ビル」）
	ㄥ 52. 7.12	日本消防協会から広報車（バン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 8.31	会津若松市一箕町大字上蚕養字石堂境474番地の5に組合庁舎完成 鉄筋コンクリート造一部5階建、延面積2,458.18㎡、工費334,320千円、敷地面積2,218.632㎡
	ㄥ 52. 9. 8	会津若松地方危険物安全協会から広報車1台寄贈を受ける。 会津若松地方消防設備協会、防火管理者会から広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 9.13	白楡会から救急自動車1台寄贈され、組合消防署配備
	ㄥ 52. 9.20	消防署（1階）、消防本部（2階）、新庁舎にて業務開始
	ㄥ 52. 9.28	会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎落成式挙行
	ㄥ 52.10. 1	機構改革により猪苗代、会津坂下、会津高田の各出張所を分署と改称 職員定数212人に改正 消防職員10人採用し、消防職員総数201人となる。
	ㄥ 52.11.26	消防自動車（CD-II型）1台更新、西出張所に配備
	ㄥ 53. 2.24	救助工作車購入、組合消防署に配備
	ㄥ 53. 4. 1	消防職員11人採用し、消防職員総数212人となる。
	ㄥ 53. 4. 3	渡辺消防長退職に伴い、新消防長 芳賀佐蔵 氏就任
	ㄥ 53.10. 1	機構改革により1本部3署1分署8出張所となる。 会津若松消防署、消防署会津高田分署、消防署会津高田分署小松出張所、消防署西、十文字の各出張所 猪苗代消防署、消防署磐梯出張所 会津坂下消防署、消防署柳津、三島、金山、昭和の各出張所と改称
	ㄥ 53.10.23	（財）日本防火協会から9人乗マイクロバス型広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 53.11.14	超短波無線市町村波第2装置免許許可される。
	ㄥ 54. 2.26	化学消防自動車II型1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 54. 3.16	圏域内の既設婦人消防隊をもって、会津若松地方広域婦人消防隊連絡協議会が結成発足する。
	ㄥ 54. 5.15	会津若松地方消防設備協会創立10周年記念事業として広報車（トヨタ カリーナバン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 54. 9.25	ヨークベニマルから救急自動車（II-B型）2台寄贈を受け、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備 救急自動車（II-B型）1台購入、猪苗代消防署に配備
ㄥ 54.12.25	消防自動車（CD-II型）3台購入（2台増強、1台更新）会津若松消防署、猪苗代消防署、会津坂下消防署に配備	
ㄥ 55. 7.17	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署、同西出張所に配備	
ㄥ 55. 8.23	救急自動車（II-B型）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津坂下消防署昭和出張所に配備	
ㄥ 55.11.26	消防自動車（CD-II型）2台、（CD-I型）1台購入（2台更新、1台増強）会津若松消防署会津高田分署、同十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備	
ㄥ 56. 4. 1	芳賀消防長退職に伴い、新消防長 柗屋和夫 氏就任	

広域消防 (組合消防) 時代	昭和56. 6.23	有限会社ナガミネからミニ査察車(スバル レックス)2台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 56. 8. 7	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津若松消防署会津高田分署、猪苗代消防署に配備
	〳 56. 8.25	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津若松消防署十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 56.10. 2	会津坂下消防署増築 鉄筋コンクリート造2階建、延面積481.49㎡、建築面積261.09㎡となる。
	〳 56.10.29	消防自動車(CD-I型)1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 57. 2.22	林野火災特別地域対策事業により、2地域が福島県より指定を受ける。 会津両沼地区(会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津高田町、会津本郷町、新鶴村) 会津東部地区(猪苗代町、磐梯町、会津若松市、河東町)
	〳 57. 2.28	住居表示の変更により、消防本部及び会津若松消防署の住所が会津若松市中央三丁目10番12号となる。
	〳 57. 3.15	会津若松地方防火管理者会から、ビデオカメラ等一式寄贈を受け消防本部に配備
	〳 57. 4. 1	会津若松市より派遣を命ぜられていた62人の職員の派遣を解く。 消防職員定数224人となる。 消防職員12人増員し、消防職員総数224人となる。
	〳 57. 8. 2	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 57. 8.31	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津若松消防署西出張所、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	〳 57.10. 1	機構改革により本部に予防課を新設、1本部(総務課・予防課・消防課)3署1分署8出張所となる。
	〳 57.10.28	消防指揮車(トヨタ ダイナ)1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 57.12.20	消防自動車(CD-I型)1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 57.12.25	猪苗代消防署増築 鉄筋コンクリート造2階建、延面積488.83㎡、建築面積346.54㎡となる。
	〳 58. 4. 1	榎屋消防長退職に伴い、新消防長 高島好昭 氏就任
	〳 58. 7.25	広報車(スバル レオーネ)2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 58. 9. 4	(財)日本消防協会から電源照明車(トヨエース)寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 58. 9. 8	救急自動車(Ⅱ-B型)2台更新、会津坂下消防署金山出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 58.10.24	消防自動車(CD-II型)1台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
〳 59. 3.27	(財)日本消防協会から救急自動車(Ⅱ-B型)1台寄贈を受け、会津坂下消防署三島出張所に配備	
〳 59. 7. 4	小型動力ポンプ(B-2型)1台購入、会津若松消防署に配備	
〳 59. 9. 3	救急自動車(Ⅱ-B型)1台更新、会津若松消防署に配備	
〳 59.12.24	消防自動車(CD-II型)2台更新、会津坂下消防署三島出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備	

広域消防（組合消防）時代	昭和59.12.25	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 60. 3.29	会津坂下消防署、猪苗代消防署、会津若松消防署会津高田分署、電飾看板新設
	ㄥ 60. 4. 1	高島消防長退職に伴い、新消防長 証屋和夫 氏就任
	ㄥ 60. 4.24	福島県共済農業共同組合から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け猪苗代消防署に配備
	ㄥ 60. 5. 8	会津若松地方危険物安全協会創立30周年記念事業としてマイクロバス（トヨタコースター 29人乗）1台寄贈を受け消防本部に配備
	ㄥ 60. 6.22	広報車（スバル レオーネ）2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 60.10. 9	消防自動車（CD-Ⅰ型）2台更新、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	ㄥ 60.10.21	会津若松ロータリークラブから消防本部旗一式寄贈を受ける。
	ㄥ 60.12.16	会津坂下消防署昭和出張所増改築 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積133.11㎡となる。
	ㄥ 61. 2.21	会津若松消防署西出張所移転用地として9,187㎡を取得する。
	ㄥ 61. 4.25	普通乗用車1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 61. 5. 8	広報車（スバル レオーネ）2台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 8.30	日本消防協会から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 9. 3	星源孝 氏から水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61.12. 1	会津若松南ロータリークラブからレスキュー隊旗一式寄贈を受け、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 61.12.10	消防自動車（BD-Ⅰ型）1台更新、猪苗代消防署に配備 消防自動車（水-Ⅱ型）1台購入、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 62. 3. 4	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部並びに湯川村消防団が自治省消防庁長官より表彰（竿頭綬）される。
	ㄥ 62. 3.25	会津若松消防署西出張所の移転に伴う会津若松消防署城南分署落成披露式を行う。
	ㄥ 62. 4. 1	会津若松消防署城南分署開設 鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部5階建、敷地面積10,260㎡、建築面積465.97㎡、延面積847.60㎡、消防車両6台、人員17人配置、1本部3署2分署7出張所となる。
	ㄥ 62. 5.11	広報車1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62. 6. 5	（財）日本防火協会から防火広報車（トヨタ ハイエース）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 62. 6. 9	広報車（スバル レオーネ）1台更新、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62. 9. 9	山ノ内製薬株式会社から救急自動車（日産 キャラバン）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62.10.26	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	ㄥ 62.12.10	水槽付救助工作車（日野）2台購入、会津坂下消防署、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62.12.17	30m級はしご付消防自動車を購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62.12.26	30m級はしご付消防自動車納入披露、祝賀式を行う。
ㄥ 63. 6.29	広報車（スバル レオーネ）1台更新、会津坂下消防署に配備	
ㄥ 63. 7.25	会津スバル自動車株式会社からミニ査察車（スバル レックスコンビ）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備	

広域消防（組合消防）時代	昭和63. 8. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 63. 9.29	消防自動車（CD-Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 63.12.27	救助工作車1台購入、会津若松消防署に配備
	平成元. 3. 1	会津若松市はしご車購入後援会から広報車（スバルレオーネ）1台寄贈を受け会津若松消防署に配備
	〳 元. 4. 1	柎屋消防長退職に伴い、新消防長 鈴木忠三 氏就任
	〳 元. 8.30	（財）日本防火協会から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 元.11.15	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備 救急自動車（Ⅱ-B型）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 2. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 宮本昇 氏就任
	〳 2. 9.14	広報車（スバル レオーネ4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 2.12.25	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 3. 1.25	（社）日本損害保険協会から救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台寄贈を受け、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 3. 7. 2	広報車（マツダ ファミリア4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	〳 3.10.11	（社）日本損害保険協会から化学消防自動車（Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 3.12. 6	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 4. 3.30	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 4. 4. 1	消防職員9人採用、消防職員総数233人となる。
	〳 4. 6.16	会津若松地方防火管理者会から消防業務用連絡車（トヨタ ビスタ4WD）1台寄贈を受け、消防本部に配備
	〳 4. 8.21	広報車（トヨタ カローラ4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 4. 8.25	会津若松地方広域消防基本計画が制定される。 職員定数289人に改正
	〳 4.11.30	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 5. 1.20	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5. 4. 1	宮本消防長退職に伴い、新消防長 小檜山秀政 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数246人となる。
	〳 5. 7.16	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 5.10. 1	勤務時間 週40時間体制実施される。
	〳 5.10.20	広報車（トヨタ カローラ4WD）2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5.10.26	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
〳 6. 3.23	消防緊急通信指令システム構築、消防本部通信指令室を城南分署2階に移転	
〳 6. 4. 1	小檜山消防長退職に伴い、新消防長 三星市三 氏就任 消防職員14人採用、消防職員総数257人となる。 機構改革により通信指令室が消防課より独立、1本部（総務課、予防課、消防課、通信指令室）3署2分署7出張所となる。	

広域消防 (組合消防) 時代	平成 6. 8.25	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 6. 8.30	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 6. 9.13	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.10. 3	消防本部総務課、予防課、消防課、会津若松消防署の電話をダイヤルイン方式に切り替える。
	〳 6.10.20	消防無線中継システム運用開始、背炙り山、惣山に無線中継所を構築
	〳 6.12. 9	消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.12.27	水槽付消防自動車 (水Ⅰ-B型) 2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 7. 1. 1	三星消防長退職に伴い、新消防長 鈴木茂 氏就任
	〳 7. 2.10	小型動力ポンプ付水槽車 (Ⅱ型) 1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 7. 2.28	福島総合警備保障から広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台寄贈を受け、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	〳 7. 4. 1	消防職員12人採用、消防職員総数267人となる。 機構改革により会津高田分署が署に格上げ、1本部 (総務課、予防課、消防課、通信指令室) 4署1分署7出張所となる。
	〳 7. 4.27	J A 福島共済連から救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 7. 8.31	広報車 (スバル レガシーワゴン4WD) 2台更新、会津坂下消防署柳津出張所、会津高田消防署に配備
	〳 7. 9. 1	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 8. 1.19	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 8. 1.26	水槽付消防自動車 (水Ⅰ-B型) 1台更新、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 8. 3.28	調査車 (トヨタ ハイエース4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 8. 3.29	消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 4. 1	消防職員9人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 8. 7.24	乗用車 (トヨタ クラウン4WD) 1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 8. 5	組合庁舎敷地内の訓練塔撤去
	〳 8. 8. 6	救急自動車 (Ⅱ-B型4WD) 2台更新、会津坂下消防署、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 8. 8	人員搬送車 (マイクロバス29人乗) 1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 9. 2	広報車 (スバル レガシーワゴン、レオーネ4WD) 2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 9.30	会津若松消防署城南分署に車庫 (97.2㎡) 新築
	〳 8.11.18	住居表示の変更により、消防本部通信指令室・会津若松消防署城南分署の住所が会津若松市古川町9番21号になる。
	〳 8.12.25	水槽付消防自動車 (水Ⅱ型) 1台更新、会津若松消防署に配備 消防自動車 (CD-Ⅰ型4WD) 1台更新、猪苗代消防署に配備
〳 8.12.30	福島県総合情報システム運用開始	
〳 9. 1.30	圏域内の119番通報を通信指令室に集約	

広域消防 (組合消防) 時代	平成 9. 8.18	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 9.12.17	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、猪苗代消防署に配備
	〳 9.12.25	消防自動車 (CD- I 型4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 川島仁 氏就任 消防職員4人採用、消防職員総数274人となる。 携帯電話、自動車電話等から119番通報受理運用開始
	〳 10. 4.23	(財) 日本消防協会から救急自動車 (II-B型4WD) 1台寄贈、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 10. 7.23	広報車 (トヨタ カルディナ4WD) 1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10.12.17	消防自動車 (CD- I 型4WD) 1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 11. 5.31	会津若松地方消防設備協会から広報車 (トヨタ ガイア4WD) 1台寄贈、消防本部に配備
	〳 11.10. 1	猪苗代消防署新築移転 (猪苗代町字梨木西19番1) 鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積3,438.41㎡、延面積1,168.41㎡
	〳 11.10. 8	猪苗代消防署新築移転に伴う落成披露式を行う。
	〳 11.11.30	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津高田消防署に配備
	〳 11.12.20	消防自動車 (水-II型) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 11.12.31	西暦2000年問題 (Y2K) 対策のため、全職員が署所に待機して特別警戒体制をとる。
	〳 12. 4. 1	川島消防長退職に伴い、新消防長 佐々木通 氏就任。 消防職員3人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 12. 7.31	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 12.12.25	水槽付消防自動車 (水 I-B型) 1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 13. 4. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 13.10.29	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 14. 4. 1	佐々木消防長退職に伴い、新消防長 小川久芳 氏就任 消防職員3人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 14.10.21	資機材搬送車1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 14.10.23	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津坂下消防署に配備
	〳 15. 4. 1	消防職員5人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 15. 7. 1	小川消防長退職に伴い、新消防長 齋藤精一 氏就任
	〳 15. 9.18	救急自動車 (II-B型4WD) 1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 15.11.13	高規格救急自動車 (4WD) 1台購入、会津高田消防署に配備
	〳 15.11.28	広報車 (三菱パジェロ4WD) 1台購入、猪苗代消防署に配備 広報車 (ダイハツ マックス4WD) 1台購入、会津若松消防署に配備
〳 15.12.25	消防ポンプ自動車 (水 I-A型) 1台更新、会津坂下消防署に配備	
〳 16. 4. 1	消防職員6人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により消防本部において課係制を廃し、グループ制を導入、1本部 (総務グループ、予防グループ、警防グループ、指令グループ) 4署1分署7出張所となる。 通信指令室を通信指令センターと改称 管内基幹4署予防係に日勤者を配置	

広域消防（組合消防）時代	平成16.11. 1	北会津郡北会津村の会津若松市への編入合併に伴い、会津高田消防署小松出張所が会津若松消防署小松出張所となる。
	〳 16. 9.29	広報車（スバル プレオ4WD）2台購入、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	〳 17. 3. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、猪苗代消防署、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 17. 3. 8	高規格救急自動車（4WD）2台更新、会津若松消防署、猪苗代消防署に配備
	〳 17. 4. 1	消防職員4人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 17. 5.20	会津若松地方危険物安全協会から災害対応指揮車（トヨタ ハイラックスサーフ）1台寄贈、会津若松消防署に配備
	〳 17. 5.20	会津若松消防署配備の広報車（スバル プレオ4WD）を猪苗代消防署に配置替
	〳 17. 8.25	（財）日本宝くじ協会から消火・通報訓練車（マツダ）1台寄贈、消防本部に配備
	〳 17.10. 1	大沼郡会津高田町・大沼郡新鶴村・大沼郡会津本郷町の2町1村が合併し会津美里町となる。この合併に伴い会津高田消防署が会津美里消防署となる。
	〳 17.11. 1	河沼郡河東町の会津若松市への編入合併
	〳 18. 4. 1	消防職員10人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 18.10. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により2部制から3部制とする。
	〳 18.10.31	広報車（スバル プレオ4WD）1台更新、会津美里消防署に配備
	〳 18.12. 5	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、会津若松消防署及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 18.12.13	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 19. 4. 1	齋藤消防長人事異動に伴い、新消防長 二瓶 勝 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数280人となる。
	〳 19. 9. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11番地 会津若松市役所北会津支所2階に移転
	〳 19.10.26	救助工作車（Ⅱ型）更新 城南分署に配備
	〳 20. 3. 4	高規格救急自動車（4WD）日本損害保険協会から寄贈、城南分署に配備
	〳 20. 4. 1	二瓶消防長退職に伴い、新消防長 鈴木新一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数281人となる。
	〳 20.12.25	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 21. 1.28	普通救急自動車（4WD）1台更新、会津若松消防署小松出張所に配備
	〳 21. 4. 1	消防職員18人採用、消防職員総数282人となる。
	〳 21. 9.30	広報車（ダイハツ テリオスキッド4WD）2台更新、会津若松消防署十文字出張所及び会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 22. 3.19	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 22. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 桑原常義 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数287人となる。
〳 22. 8. 6	指揮車（三菱パジェロ4WD）2台購入、会津坂下消防署及び会津美里消防署に配備	
〳 22. 9.10	広報車（ダイハツ テリオスキッド4WD）1台更新 会津坂下消防署金山出張所に配備	
〳 23. 2.17	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備	

広域消防 (組合消防) 時代	平成23. 3. 3	普通救急自動車(4WD)1台更新 会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 23. 4. 1	桑原消防長退職に伴い、新消防長 山内志津夫 氏就任 消防職員14人採用、消防職員総数283人となる。 消防本部において課制への機構改革により、1本部(総務課、予防課、警防課、指令課)4署1分署7出張所となる。
	ㄥ 23. 4. 1	消防通信指令に関する事務を共同して管理・執行することを目的として、喜多方地方広域市町村圏組合と「会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会」を設置
	ㄥ 23. 8.17	指揮車(三菱パジェロ4WD)1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	ㄥ 23.10.21	広報車(ダイハツ テリオスキッド4WD)3台更新、会津若松消防署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 23.11.25	普通救急自動車(4WD)1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 24. 3. 1	高機能消防指令システムを導入し、会津若松地方・喜多方地方消防指令センターの運用開始
	ㄥ 24. 3.27	消防自動車(CD-I型4WD)1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 24. 4. 1	山内消防長退職に伴い、新消防長 六角篤 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。
	ㄥ 24. 4. 5	J A 共済連福島から高規格救急自動車(4WD)1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 24. 6.15	会津若松地方防火管理者会から消防業務用連絡車(トヨタ ラッシュ)1台寄贈を受け、消防本部に配備
	ㄥ 24. 8.17	広報車(スズキ ジムニー4WD)1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 25. 3.21	水槽付消防自動車(水I-B)1台更新、会津美里消防署に配備
	ㄥ 25. 3.25	化学消防自動車(II型)1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25. 4. 1	六角消防長退職に伴い、新消防長 平岡孝一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。 機構改革により3部制から2部制とする。 会津若松消防署城南分署に消防本部訓練センターを設立
	ㄥ 25. 4.24	福島防災有限会社から乗用環境整備車(草刈機)1台寄贈を受け、会津若松消防署城南分署に配備
	ㄥ 25. 8. 9	広報車(トヨタ サクシード)1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25.10.25	高規格救急自動車(4WD)2台更新、猪苗代消防署及び会津坂下消防署に配備
	ㄥ 25.11. 6	30m級はしご付消防自動車を26年ぶりに更新
	ㄥ 25.12.24	消防自動車(CD-I型4WD)2台更新、会津若松消防署小松出張所及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 26. 4. 1	平岡消防長退職に伴い、新消防長 小田切秀夫 氏就任 消防職員20人採用、消防職員総数287人となる。
	ㄥ 26. 8.27	乗用車(トヨタ カローラフィールダーハイブリッド)1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 26.10.29	広報車(トヨタ カローラフィールダー)1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 27. 4. 1	小田切消防長退職に伴い、新消防長 築取正喜 氏就任 消防職員15人採用、消防職員総数286人となる。
	ㄥ 27.11. 4	無線中継車(トヨタ レジアスエース)1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 27.11.13	高規格救急自動車(4WD)1台更新、会津若松消防署城南分署に配備

広域消防 (組合消防) 時代	平成27.11.26	指揮車（三菱パジェロ）1台更新、消防本部に配備
	〳 28. 3. 1	消防救急デジタル無線システム運用開始
	〳 28. 4. 1	築取正喜消防長退職に伴い、新消防長 眞部文夫 氏就任 消防職員4人採用、消防職員総数285人となる。
	〳 28. 5.10	福島防災有限会社から消防本部旗一式寄贈を受ける。
	〳 28. 9.28	高規格救急自動車（4WD）2台更新、会津若松消防署、会津美里消防署に配備
	〳 28.11.22	一般財団法人救急振興財団から救急普及啓発広報車1台寄贈を受け、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 28.12.14	消防自動車（CD- I 型4WD）2台更新、猪苗代消防署、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 29. 3.31	会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎の耐震補強及び大規模改修工事完了
	〳 29. 4. 1	消防職員3人採用、消防職員総数286人となる。

歴 代 消 防 長

歴 代	組合発足後	氏 名	在 任 期 間
初代		横 山 武	昭和24年11月1日 ～ 昭和27年3月27日
2代		村 井 八 郎	昭和27年3月28日 ～ 昭和31年3月27日
3代		横 山 武	昭和31年3月28日 ～ 昭和39年7月31日
4代		矢 部 七 郎	昭和39年8月1日 ～ 昭和45年4月4日
5代	初代	松 崎 武 勇	昭和45年4月5日 ～ 昭和49年4月5日
6代	2代	渡 辺 福 利	昭和49年4月6日 ～ 昭和53年4月2日
7代	3代	芳 賀 佐 蔵	昭和53年4月3日 ～ 昭和56年3月31日
8代	4代	柗 屋 和 夫	昭和56年4月1日 ～ 昭和58年3月31日
9代	5代	高 島 好 昭	昭和58年4月1日 ～ 昭和60年3月31日
10代	6代	柗 屋 和 夫	昭和60年4月1日 ～ 平成元年3月31日
11代	7代	鈴 木 忠 三	平成元年4月1日 ～ 平成2年3月31日
12代	8代	宮 本 昇	平成2年4月1日 ～ 平成5年3月31日
13代	9代	小檜山 秀 政	平成5年4月1日 ～ 平成6年3月31日
14代	10代	三 星 市 三	平成6年4月1日 ～ 平成6年12月31日
15代	11代	鈴 木 茂	平成7年1月1日 ～ 平成10年3月31日
16代	12代	川 島 仁	平成10年4月1日 ～ 平成12年3月31日
17代	13代	佐々木 通	平成12年4月1日 ～ 平成14年3月31日
18代	14代	小 川 久 芳	平成14年4月1日 ～ 平成15年6月30日
19代	15代	齋 藤 精 一	平成15年7月1日 ～ 平成19年3月31日
20代	16代	二 瓶 勝	平成19年4月1日 ～ 平成20年3月31日
21代	17代	鈴 木 新 一 郎	平成20年4月1日 ～ 平成22年3月31日
22代	18代	桑 原 常 義	平成22年4月1日 ～ 平成23年3月31日
23代	19代	山 内 志 津 夫	平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日
24代	20代	六 角 篤	平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日
25代	21代	平 岡 孝 一 郎	平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日
26代	22代	小 田 切 秀 夫	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日
27代	23代	築 取 正 喜	平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日
28代	24代	眞 部 文 夫	平成28年4月1日 ～ 現 在

歴代消防署長

署 歴代	会津若松消防署	会津坂下消防署	猪苗代消防署	会津美里消防署 (旧会津高田消防署)
初代	斎藤 勇 昭和24年11月1日	桜井 恒夫 昭和53年10月1日	箭内 栄一 昭和53年10月1日	古賀 功 平成7年4月1日
2代	下重 武勇 昭和27年9月6日	辻沢 清一 昭和57年10月1日	小檜山 秀政 昭和58年4月1日	中野 庄司 平成11年4月1日
3代	矢部 七郎 昭和31年11月1日	宮本 昇 昭和60年8月1日	越田 長喜 昭和61年4月1日	内川 剛 平成12年4月1日
4代	小沼 賢輔 昭和39年8月1日	若狭 春生 平成元年4月1日	川島 仁 昭和63年4月1日	佐々木 藤吉 平成14年4月1日
5代	栗田 嘉一 昭和41年4月1日	山田 昭夫 平成4年4月1日	白井 隆 平成2年4月1日	武藤 英二 平成16年4月1日
6代	松崎 武勇 昭和43年12月1日	渡部 津知江 平成5年4月1日	渡部 守男 平成4年4月1日	渡部 孝雄 平成18年4月1日
7代	渡辺 福利 昭和49年4月6日	若狭 春生 平成8年4月1日	藤原 裕喜 平成6年4月1日	渡部 幸一 平成20年4月1日
8代	芳賀 佐蔵 昭和53年4月3日	白井 隆 平成11年4月1日	山田 昭夫 平成9年4月1日	雪野 耕一 平成21年4月1日
9代	小檜山 秀政 昭和53年10月1日	山田 昭夫 平成12年4月1日	佐藤 茂行 平成12年4月1日	田崎 芳彦 平成22年4月1日
10代	宮本 昇 昭和58年4月1日	野崎 孝一郎 平成14年4月1日	藤原 裕喜 平成14年2月1日	飯山 義昭 平成23年4月1日
11代	辻沢 清一 昭和60年8月1日	中野 庄司 平成16年4月1日	筒井 邦雄 平成15年4月1日	松林 幸一 平成24年4月1日
12代	小檜山 秀政 平成元年4月1日	渡部 進 平成20年4月1日	大竹 正之 平成16年4月1日	小柴 忠雄 平成25年4月1日
13代	三星 市三 平成2年4月1日	齋藤 和男 平成21年4月1日	安部 寛 平成18年4月1日	大橋 賢介 平成26年4月1日
14代	川島 仁 平成6年4月1日	三瓶 千恵雄 平成22年4月1日	星野 常喜 平成19年4月1日	関本 光則 平成27年4月1日
15代	渡部 守男 平成9年4月1日	新井田 順一 平成23年4月1日	齋藤 利衛 平成20年4月1日	山田 善久 平成28年4月1日
16代	白井 隆 平成12年4月1日	村岡 建男 平成24年4月1日	六角 篤 平成21年4月1日	内山 宏 平成29年4月1日
17代	山田 昭夫 平成14年4月1日	大八木 健弘 平成25年4月1日	雪野 耕一 平成22年4月1日	
18代	藤原 裕喜 平成15年4月1日	星 健司 平成26年4月1日	村岡 建男 平成23年4月1日	
19代	筒井 邦雄 平成16年4月1日	諏訪 和哉 平成27年4月1日	築取 正喜 平成24年4月1日	
20代	佐々木 藤吉 平成17年4月1日	岩田 敏男 平成28年4月1日	由井 昇 平成25年4月1日	

署 歴代	会津若松消防署	会津坂下消防署	猪苗代消防署	会津美里消防署 (旧会津高田消防署)
21代	五ノ井 義 次 平成18年 4月 1日	芳 賀 利 幸 平成29年 4月 1日	山 口 隆 博 平成26年 4月 1日	
22代	佐 藤 孝 喜 平成20年 4月 1日		鈴 木 保 雄 平成28年 4月 1日	
23代	六 角 篤 平成22年 4月 1日		山 田 善 久 平成29年 4月 1日	
24代	雪 野 耕 一 平成23年 4月 1日			
25代	齋 藤 吉 喜 平成24年 4月 1日			
26代	築 取 正 喜 平成25年 4月 1日			
27代	大八木 健 弘 平成26年 4月 1日			
28代	岩 崎 伸 平成27年 4月 1日			
29代	山 口 隆 博 平成28年 4月 1日			

凡 例	
上 段	氏 名
下 段	就任年月日

面積・人口・世帯数

平成29年4月1日現在

区分 市町村名	面積 (km ²)	人口			世帯数 (世帯)
		計(人)	男(人)	女(人)	
計	1,992.31	188,040	90,024	98,016	71,950
会津若松市	383.03	122,066	58,406	63,660	49,415
磐梯町	59.69	3,519	1,693	1,826	1,107
猪苗代町	395.00	14,553	6,974	7,579	4,940
会津坂下町	91.65	16,003	7,663	8,340	5,444
湯川村	16.36	3,186	1,521	1,665	923
柳津町	176.07	3,399	1,655	1,744	1,198
三島町	90.83	1,585	772	813	656
金山町	293.97	2,112	1,004	1,108	946
昭和村	209.34	1,273	605	668	620
会津美里町	276.37	20,344	9,731	10,613	6,701

人口の推移

年別	世帯数 (世帯)	人口			対前年率 (%)
		計(人)	男(人)	女(人)	
H12. 4. 1	71,354	219,503	105,266	114,237	△ 1.05
H13. 4. 1	71,409	218,267	104,639	113,628	△ 0.56
H14. 4. 1	71,701	216,890	103,868	113,022	△ 0.63
H15. 4. 1	71,999	215,388	103,068	112,320	△ 0.69
H16. 4. 1	73,395	214,609	102,953	111,656	△ 0.36
H17. 4. 1	72,510	211,692	101,045	110,647	△ 1.36
H18. 4. 1	71,280	209,141	99,609	109,532	△ 1.21
H19. 4. 1	71,300	206,166	98,091	108,075	△ 1.42
H20. 4. 1	71,606	204,057	97,036	107,021	△ 1.02
H21. 4. 1	71,848	202,179	96,073	106,106	△ 0.92
H22. 4. 1	71,850	200,149	95,045	105,104	△ 1.00
H23. 4. 1	74,404	200,612	95,802	104,810	0.23
H24. 4. 1	70,758	195,957	93,072	102,885	△ 2.32
H25. 4. 1	70,610	193,606	91,979	101,627	△ 1.20
H26. 4. 1	70,819	191,525	91,136	100,389	△ 1.07
H27. 4. 1	70,846	189,241	90,045	99,196	△ 1.19
H28. 4. 1	71,705	190,333	90,863	99,470	0.58
H29. 4. 1	71,950	188,040	90,024	98,016	△ 1.20

一 般 会 計 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	平成29年度 予 算 額	構成比 (%)	平成28年度 予 算 額	構成比 (%)	比 較
1 分担金及び負担金	4,532,940	85.864%	4,498,982	81.189%	33,958
2 使用料及び手数料	261,259	4.949%	259,023	4.674%	2,236
3 県 支 出 金	2,540	0.048%	2,511	0.045%	29
4 国 庫 支 出 金	7,537	0.143%	35,149	0.634%	△ 27,612
5 財 産 収 入	963	0.018%	4,258	0.077%	△ 3,295
6 寄 付 金	1	0.000%	1	0.000%	0
7 繰 入 金	408,873	7.745%	565,457	10.204%	△ 156,584
8 繰 越 金	36,504	0.691%	18,688	0.337%	17,816
9 諸 収 入	17,401	0.330%	28,027	0.506%	△ 10,626
10 組 合 債	11,200	0.212%	129,300	2.334%	△ 118,100
歳 入 合 計	5,279,218	100.000%	5,541,396	100.000%	△ 262,178

歳 出

(単位：千円)

款	平成29年度 予 算 額	構成比 (%)	平成28年度 予 算 額	構成比 (%)	比 較
1 議 会 費	4,400	0.083%	5,429	0.098%	△ 1,029
2 総 務 費	150,823	2.856%	176,987	3.194%	△ 26,164
3 民 生 費	67,391	1.277%	68,773	1.241%	△ 1,382
4 衛 生 費	1,862,596	35.282%	1,987,926	35.874%	△ 125,330
5 消 防 費	3,106,005	58.835%	3,133,501	56.547%	△ 27,496
6 公 債 費	77,003	1.459%	141,780	2.559%	△ 64,777
7 予 備 費	11,000	0.208%	27,000	0.487%	△ 16,000
歳 出 合 計	5,279,218	100.000%	5,541,396	100.000%	△ 262,178

消 防 予 算 の 推 移

(単位：千円)

年 度	会津若松地方広域 市町村圏整備組合 一般会計予算額	消 防 予 算 額 (公債費、予備費含む)	一般会計予算額 に対する消防予 算額割合 (%)	消防予算額に対する額					
				消防職員		人口 (円)		世帯 (円)	
				職員数	一人当たり	人 口	一人当たり	世帯数	一世帯当たり
12	2,930,012	2,764,426	94.35%	275	10,052	219,503	12,594	71,354	38,742
13	2,851,389	2,708,271	94.98%	274	9,884	220,672	12,273	72,297	37,460
14	2,945,423	2,789,424	94.70%	273	10,218	216,890	12,861	71,704	38,902
15	2,934,980	2,788,374	95.00%	274	10,177	215,388	12,946	71,999	38,728
16	2,878,427	2,740,476	95.21%	274	10,002	214,609	12,770	73,395	37,339
17	4,467,890	2,648,859	59.29%	273	9,703	211,692	12,513	72,510	36,531
18	2,857,599	2,725,965	95.39%	274	9,949	208,215	13,092	71,058	38,363
19	4,672,602	2,797,965	59.88%	280	9,993	206,166	13,571	71,300	39,242
20	4,542,363	2,731,018	60.12%	281	9,719	204,057	13,384	71,606	38,140
21	4,523,324	2,743,201	60.65%	282	9,728	202,179	13,568	71,848	38,181
22	4,467,890	2,713,569	60.73%	287	9,455	200,149	13,558	71,850	37,767
23	5,432,093	3,293,227	60.63%	282	11,678	200,612	16,416	74,404	44,261
24	4,523,253	2,684,744	59.35%	288	9,322	195,957	13,701	70,758	37,943
25	4,828,790	2,880,193	59.65%	288	10,001	193,606	14,877	70,610	40,790
26	5,280,605	3,207,880	60.75%	287	11,177	191,525	16,749	70,819	45,297
27	5,477,880	3,036,738	55.44%	286	10,618	189,241	16,047	70,846	42,864
28	5,541,396	3,133,501	56.55%	285	10,995	190,333	16,463	71,705	43,700
29	5,279,218	3,106,005	58.83%	286	10,860	188,040	16,518	71,950	43,169

消防庁舎等概要

1 本部・署所

区分 名称	所在地	開設年月日 (移転年月日)	構造	敷地面積(㎡)	備考
				建築面積(㎡)	
消防本部	〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11 TEL:0242(59)1400 FAX:0242(59)1404 E-mail:fd.kikaku@119-aizu.jp	S52. 8.31 (H19.9.1) (移転)	RC造 一部4階建	17,833.51 ㎡	車庫 470.4㎡ 2F延べ面積 1,033.19㎡ 消防使用部分 559.8㎡
				2,441.51 ㎡	
				3,837.32 ㎡	
会津若松消防署	〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12 TEL:0242(25)1200 FAX:0242(25)1209 E-mail:fd.wakamatsu@119-aizu.jp	S52. 8.31	RC造 一部5階建	2,904.47 ㎡	車庫 65.98㎡ 受水槽室 24.75㎡ 自動車置場 16.94㎡
				954.74 ㎡	
				2,433.43 ㎡	
会津若松消防署 城南分署	〒965-0838 会津若松市古川町9-21 TEL:0242(26)0119 FAX:0242(27)1587 E-mail:fd.jyonan@119-aizu.jp	S62. 4. 1	RC造 一部2階建	10,260.00 ㎡	倉庫 45.37㎡ 車庫 97.20㎡ 空気充填室 14.43㎡ 体力錬成室 109.22㎡ 副塔 42.44㎡
				547.56 ㎡	
				745.30 ㎡	
会津若松消防署 小松出張所	〒969-6180 会津若松市北会津町両堂字大泉56-1 TEL:0242(56)3300 FAX:0242(56)3584 E-mail:fd.komatsu@119-aizu.jp	S49. 3.30	RC造 一部2階建	1,399.50 ㎡	ポンプ室 2.95㎡ 倉庫 6.62㎡
				240.00 ㎡	
				316.00 ㎡	
会津若松消防署 十文字出張所	〒969-3482 会津若松市河東町谷沢字十文字4 TEL:0242(75)2151 FAX:0242(75)2196 E-mail:fd.jyumonji@119-aizu.jp	S48. 1.15	RC造 一部2階建	916.40 ㎡	倉庫 6.62㎡
				247.31 ㎡	
				315.83 ㎡	
猪苗代消防署	〒969-3121 耶麻郡猪苗代町字梨木西19-1 TEL:0242(62)4433 FAX:0242(62)4530 E-mail:fd.inawashiro@119-aizu.jp	S49. 3.20 (H11.10.1)	RC造 2階建	3,430.89 ㎡	電気室 54.00㎡
				974.60 ㎡	
				1,114.41 ㎡	
猪苗代消防署 磐梯出張所	〒969-3301 耶麻郡磐梯町大字磐梯字山道334-1 TEL:0242(73)3100 FAX:0242(73)3109 E-mail:fd.bandai@119-aizu.jp	S51. 4.15	RC造 平屋建	780.41 ㎡	倉庫 6.62㎡
				165.65 ㎡	
				165.65 ㎡	
会津坂下消防署	〒969-6551 河沼郡会津坂下町字館ノ下111-1 TEL:0242(83)4100 FAX:0242(83)0251 E-mail:fd.bange@119-aizu.jp	S49. 3.20	RC造 2階建	813.76 ㎡	倉庫 6.62㎡
				261.09 ㎡	
				481.48 ㎡	
会津坂下消防署 柳津出張所	〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字村ノ上乙1929-1 TEL:0241(42)2150 FAX:0241(42)2167 E-mail:fd.yanaizu@119-aizu.jp	S48. 1.15	RC造 一部2階建	383.00 ㎡	倉庫 6.62㎡
				165.00 ㎡	
				189.00 ㎡	
会津坂下消防署 三島出張所	〒969-7511 大沼郡三島町大字宮下字居平137-1 TEL:0241(52)3032 FAX:0241(52)3033 E-mail:fd.mishima@119-aizu.jp	S51. 4. 3	RC造 平屋建	971.20 ㎡	倉庫 6.62㎡
				163.62 ㎡	
				163.62 ㎡	
会津坂下消防署 金山出張所	〒968-0006 大沼郡金山町大字中川字大田面1482-2 TEL:0241(55)3100 FAX:0241(55)3109 E-mail:fd.kaneyama@119-aizu.jp	S48. 1.15	RC造 一部2階建	934.00 ㎡	倉庫 6.62㎡
				165.00 ㎡	
				211.20 ㎡	
会津坂下消防署 昭和出張所	〒968-0103 大沼郡昭和村大字下中津川字中島654 TEL:0241(57)2119 FAX:0241(57)2174 E-mail:fd.syowa@119-aizu.jp	S47.12.25	RC造 平屋建	510.00 ㎡	倉庫 6.62㎡
				133.44 ㎡	
				133.44 ㎡	
会津美里消防署	〒969-6262 大沼郡会津美里町字鹿島3058-2 TEL:0242(54)3934 FAX:0242(54)3594 E-mail:fd.misato@119-aizu.jp	S47.12.25	RC造 一部2階建	1,034.94 ㎡	ポンプ室 2.95㎡ 倉庫 6.62㎡
				262.03 ㎡	
				348.25 ㎡	

2 無線施設

名称	所在地（下図参照）	デジタル無線 運用年月日	送信出力
センター基地局	会津若松市北会津町中荒井字諏訪前地内	H28. 3. 1	20W
大峯基地局	河沼郡柳津町大字久保田字松林地内	H28. 3. 1	20W
惣山基地局	大沼郡金山町大字水沼字惣山国有林地内	H28. 3. 1	10W
猪苗代基地局	耶麻郡猪苗代町字梨木西（猪苗代消防署敷地内）	H28. 3. 1	20W
昭和基地局	大沼郡昭和村大字下中津川字中島（昭和出張所敷地内）	H28. 3. 1	20W



消防力の整備指針と現有勢力

平成12年消防庁告示第1号の規定に基づき、人口の密度・建築物の構造・気象条件等により定められた本広域の必要とする消防力の比較を表示したものです。

1 施設の基準

区 分	基 準 数			現有数	不足数	充足率
	国の基準	地域の実状に 応じた増減	計			
(1) 署 所	3	10	13	12	1	92.3%
(2) 消 防 用 自 動 車						
① 消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	13	19	19	0	100.0%
② は し ご 自 動 車	2	-	2	1	1	50.0%
③ 化 学 消 防 車	(1)	-	(1)	(1)	0	100.0%
④ 救 助 工 作 車	4	-	4	1	3	25.0%
うち 特 別 救 助 隊	1	-	1	1	0	100.0%
⑤ 指 揮 車	4	-	4	6	0	150.0%
(3) 救 急 自 動 車	6	10	16	16	0	100.0%
(4) 特殊車両・非常用消防自動車等						
① 特 殊 車 両	-	-	-	4	-	-
② 広 報 車	-	-	-	13	-	-
③ 非常用消防自動車等	2	-	2	2	0	100.0%
④ 非常用救急自動車等	2	-	2	2	0	100.0%

注1) 化学車は、化学車として運用するほか、ポンプ車運用可能であるためポンプ車に参入

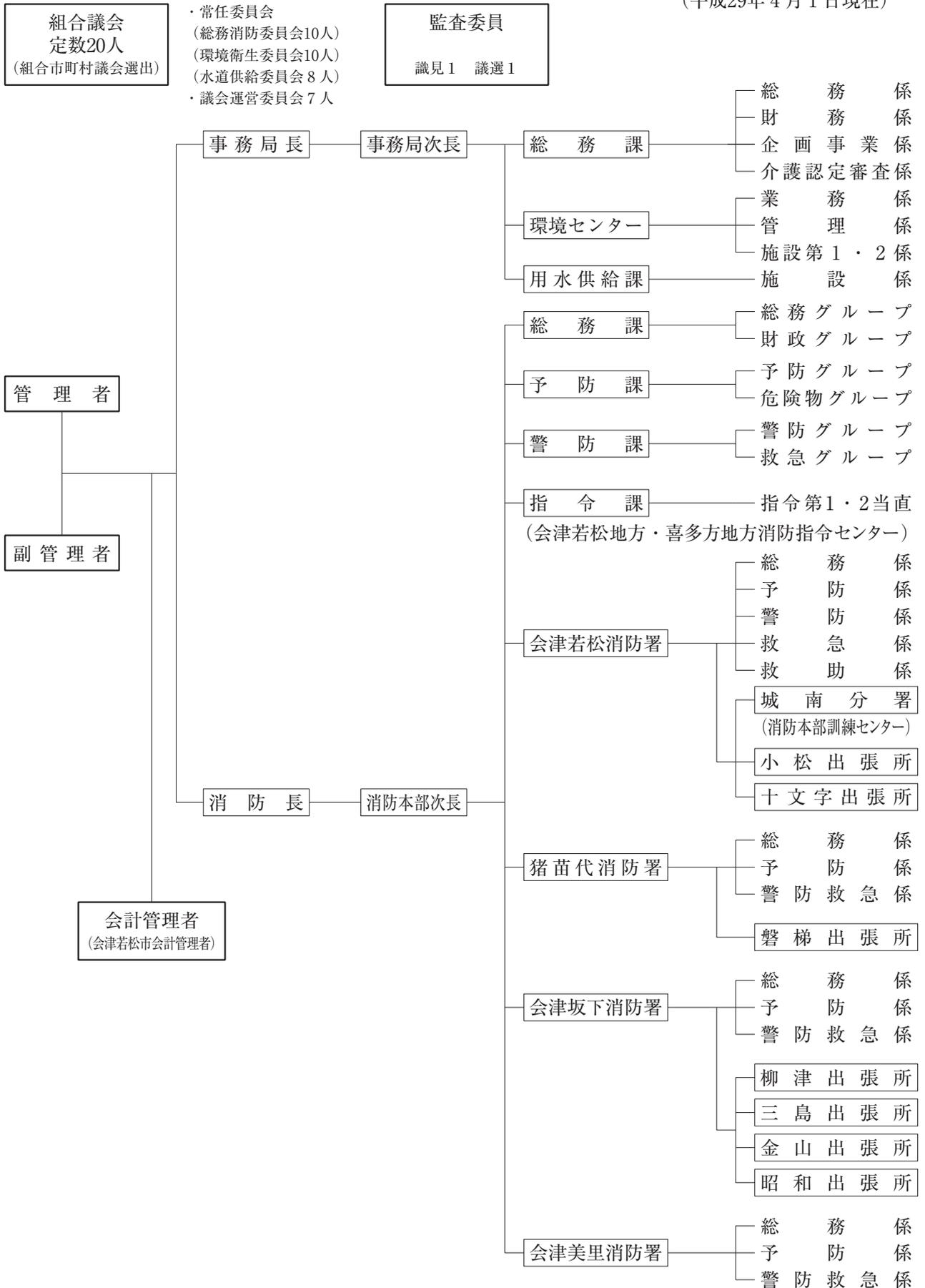
2 人員の基準

区 分	基準台数に対する 人員の基準	現有台数に対する 人員の基準	現 有 人 員
消 防 隊 員	291	291	235
救 急 隊 員			
救 助 隊 員			
指 揮 隊 員	61	16	
予 防 要 員	37	56	
予防要員のなかで交代勤務員	55	55	※ 49
予防要員のなかで交代勤務員	△ 12	△ 12	△ 16
通 信 員	5	17	16
庶 務 要 員	12	12	14
合 計	449	435	※ 298

(※短時間再任用12名を含む)

会津若松地方広域市町村圏整備組合機構図

(平成29年4月1日現在)



消防職員配置状況

条例定数 289人 職員数合計 289人

平成29年4月1日現在

所 属		階 級 等	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員
合 計			286 (※1)	1	3	8	53	59	74	11	77	12
消 防 本 部			45	1	2	3	12	6	13	4	4	1
消 防 長	1		1	1								
次 長	1		1		1							
次長兼警防課長	1		1		1							
総 務 課	11	課 長	1			1						
		総務グループ	5			2	1	2				
		財政グループ	5			1	1	1	2	1		
予 防 課	7	課 長	1			1						
		予防グループ	4			1	1	1	1	1		
		危険物グループ	2				1		1			
警 防 課	5	警防グループ	3				1	2				
		救急グループ	2				1	1				
指 令 課	16	課 長	1			1						1
		情報処理担当	1				1					
		指令第1・第2当直	14				4		6	2	2	
派 遣 等	3		3					1		2		
消 防 署 ・ 分 署 ・ 出 張 所			241		1	5	41	53	61	7	73	11
会 津 若 松 消 防 署 管 内			106		1	1	20	22	27	4	31	5
会津若松消防署	58	署 長 ・ 副 署 長	2		1	1						5
		当直長・副当直長	4				4					
		予 防 係	8				1	3	4			
		第1・第2総務係	6				2		2			2
		第1・第2予防係	4					1	3			
		第1・第2警防係	12					2	5	1	4	
		第1・第2救急係	12				2	3	6		1	
第1・第2救助係	10				2	2	3		3			
城 南 分 署	26	分署長・副分署長	3				3					
		消防本部訓練推進担当	1				1					
		第1・2消防係	12				1	1	2		8	
第1・2訓練指導係	10					4			6			
小 松 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第1当直	5				1	1	1	1	1	
第2当直	5					1	1	1		2		
十 字 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第1当直	5					2		1	2	
第2当直	5					2	2	1	2			
猪 苗 代 消 防 署 管 内			37			1	7	11	6	1	11	2
猪苗代消防署	26	署 長 ・ 副 署 長	2			1	1					2
		当直長・副当直長	4				4					
		予 防 係	2				1	1				
		第1・第2総務係	6					2	2		2	
		第1・第2予防係	4						2		2	
第1・第2警防救急係	8					4		1	3			
磐 梯 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1				2	
		第1当直	5					2	1		2	
第2当直	5						2	1		2		
会 津 坂 下 消 防 署 管 内			72			2	9	15	20		26	2
会津坂下消防署	28	署 長 ・ 副 署 長	2			2						2
		当直長・副当直長	4				4					
		予 防 係	2				1		1			
		第1・第2総務係	6					2	2		2	
		第1・第2予防係	4					1	1		2	
		第1・第2警防救急係	10					2	2		6	
柳 津 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1				2	
		第1当直	5					1	2		2	
第2当直	5						1	2		2		
三 島 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1				2	
		第1当直	5					1	2		2	
第2当直	5						1	2		2		
金 山 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1				2	
		第1当直	5					1	2		2	
第2当直	5						1	2		2		
昭 和 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1				2	
		第1当直	5					2	1		2	
第2当直	5						2	1		2		
会 津 美 里 消 防 署			26			1	5	5	8	2	5	2
会津美里消防署	26	署 長 ・ 副 署 長	2			1	1					2
		当直長・副当直長	4				4					
		予 防 係	2					1	1			
		第1・第2総務係	6					2	2		2	
		第1・第2予防係	4						2	1	1	
第1・第2警防救急係	8					2	3	1	2			
出 向 者			3			1	1	1				

※1 出向者、再任用職員含めない

消防職員階級別勤続年数・年齢

(条例定数 289人)

平成29年4月1日現在

階級等 年数・年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員
計 (再任用職員は含めない)	286	1	3	8	53	59	74	11	77	12
【勤続年数別】										
35年以上	21	1	3	6	11					
30年以上35年未満	9			2	6	1				
25年以上30年未満	17				14	3				
20年以上25年未満	48				22	25	1			
15年以上20年未満	13					13				
10年以上15年未満	41					17	23	1		
5年以上10年未満	79						50	9	20	
1年以上5年未満	55							1	54	
1年未満	3								3	
【年齢別】										
56歳以上60歳以下	17	1	3	7	6					
51歳以上55歳以下	12			1	10	1				
46歳以上50歳以下	18				16	2				
41歳以上45歳以下	43				21	21	1			
36歳以上40歳以下	37					31	6			
31歳以上35歳以下	34					4	27	3		
26歳以上30歳以下	74						40	7	27	
21歳以上25歳以下	43							1	42	
18歳以上20歳以下	8								8	
平均年齢	35.2									

消防職員免許資格等取得状況

平成29年4月1日現在

区分	階級等 免許・資格	合計	消防吏員							
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
			実員							
		286	1	3	8	53	59	74	11	77
人材育成に基づく資格	第1種衛生管理者	8(1)			1	2	4(1)	1		
	安全衛生推進者	33(4)			1	13	16(3)	3(1)		
	ガス溶接作業主任者	19	1			7	8	3		
	移動式クレーン運転士	1	1							
	小型船舶免許	39(1)	1		3	18	15	2(1)		
	高所作業車運転免許	4	1					3		
	潜水士免許	91(4)	1	1	7	23	32	18(1)	2	7(3)
	大型自動車第1種免許	187(4)	1	2	7	41	52(1)	51(2)	8	25(1)
	中型自動車第1種免許	66(6)			1		3	26	6	30(6)
	救急救命士	63(3)	1		3	16	20(2)	12(1)	2	9
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)	18(2)			3	4	10(1)	1(1)		
	予防技術資格者(防火査察専門員)	30(2)			3	6	17	3(2)		1
	予防技術資格者(危険物専門員)	21(1)			1	6	13	1(1)		
	予防技術検定合格者(消防用設備等)	19(4)				4	11(1)	4(3)		
	予防技術検定合格者(防火査察)	40(4)				5	20(1)	10(1)	4(2)	1
	予防技術検定合格者(危険物)	24(3)				6	14(1)	4(2)		
	第一級陸上特殊無線技士	8		1	1	3	2	1		
	第二級陸上特殊無線技士	42		1	2	15	22	2		
	第三級陸上特殊無線技士	177(14)			1	25	36(1)	41(9)	4	70(4)
	小型移動式クレーン技能講習	33(2)				3	11	15		4(2)
玉掛技能講習	52(5)	1		1	4	12	24(4)	3	7(1)	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	50(5)				11	21(2)	15(3)	3		
特定化学物質等作業主任者	19			2	8	7	1		1	
国家資格又は準ずる資格 消防業務に関係のある	消防設備士甲種(1類)	2					2			
	消防設備士甲種(4類)	1					1			
	消防設備士乙種(4類)	3					2	1		
	消防設備士乙種(6類)	14(2)				3	6	5(2)		
	危険物取扱者甲種	1					1			
	危険物取扱者乙種(1類)	29			1	4	11	7	2	4
	危険物取扱者乙種(2類)	26			1	5	10	6	1	3
	危険物取扱者乙種(3類)	23(1)			1	4	8	8(1)	1	1
	危険物取扱者乙種(4類)	156(3)			2	25	43	58	7	21(3)
	危険物取扱者乙種(5類)	20(1)			1	4	8	5(1)		2
	危険物取扱者乙種(6類)	34(2)			1	6	11	8(1)	3(1)	5
消防用設備点検資格者	0									
講習会等を受講して 取得できる資格等 消防業務に関係のある	JPTECプロバイダー修了者	147(20)			1	21	33	44(2)	7	41(18)
	JPTECインストラクター修了者	24				10	4	7	2	1
	Rescue3ロープレスキュー	30(2)			1	7	6	12	2	2(2)
	Rescue3ウォーターレスキュー	8				2	3	3		
	チェーンソー作業従事者	4				2	1			1
	山岳レスキュー技術認定	8				2	5	1		
	BLS講習修了者	148(18)				11	24	64	8	41(18)
ITLS修了者	27(1)				8	6(1)	11	1	1	

○ () 内は平成28年度中の資格取得者数を示す

消防職員教養状況

平成29年4月1日現在

入校区分	階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	実員	286	1	3	8	53	59	74	11	77
消防 大学 校	小計	24 (3)	1	3	6	14 (3)				
	本科									
	警防科	4 (1)	1			3 (1)				
	予防科	3				3				
	救急科	2			2					
	救助科	2				2				
	上級幹部科 幹部研修科									
	幹部科	9 (2)		3	3	3 (2)				
火災調査科	2			1	1					
新任教官科	2				2					
福 島 県 消 防 学 校	小計	908 (66)	3	12	42	261 (7)	241 (11)	212 (26)	19	118 (22)
	初任科	271 (4)	1	3	9	52	52	70	10	74 (4)
	警防科	9 (2)				1	4	4 (2)		
	予防科									
	査察科	14 (2)				3	10 (1)	1 (1)		
	救助科	23 (2)			1	9	6	7 (2)		
	水難救助科	1					1			
	山岳救助科	2				1	1			
	危険物科	10				2	6	2		
	火災(原因)調査科	19 (2)			2	9	7 (1)	1 (1)		
	林野火災対策科	4			1	1	2			
	特殊災害対策科	8			1	4	1	2		
	指揮隊長科	24 (5)				21 (5)	3			
	初級幹部科	30 (5)		1		11	8	10 (5)		
	中級幹部科	18		2	2	7	7			
	上級幹部科									
	救急Ⅰ課程	55	1	3	9	33	9			
	救急Ⅱ課程	54	1	3	9	32	9			
	救急標準課程	48				20	27	1		
	救急科	136 (18)					23	63	8	42 (18)
	救急救命士養成補助教育科	36 (3)				8	18	10 (3)		
	救急救命士気管挿管講習	13			2	11				
	救急救命士卒後研修	11			3	8				
	救急救命士処置拡大講習	16 (8)				1	12 (5)	3 (3)		
	はしご車運用科	16			1	4	7	4		
	ポンプ操法指導員科	4			1	1		2		
情報処理科	5				4	1				
放射線基礎研修	81 (15)			1	18 (2)	27 (4)	32 (9)	1	2	
そ の 他	小計	181 (26)	1	2	14	74 (7)	62 (10)	20 (5)	2 (1)	6 (3)
	救急救命東京研修所	42 (3)	1		3	14	17	7 (3)		
	東京消防庁救急救命士養成課程	1				1				
	救急救命士薬剤投与追加講習	17				11	3	3		
	指導救急救命士養成研修	3 (2)				2 (2)	1			
福島県自治研修センター等	118 (21)		2	11	46 (5)	41 (10)	10 (2)	2 (1)	6 (3)	

○ () 内は平成28年度中の教養状況を示す

各種相互応援協定

1 協定一覧

協定項目	協定先	締結年月日	協定内容
福島県広域消防相互応援協定	県内 11 消防本部	平成9年12月26日	火災、救急、その他の災害
火災原因調査に係る相互応援協定	県内 11 消防本部	平成11年12月27日	大規模、又は特異な火災における原因調査
火災・救急・その他災害相互応援協定	喜多方地方広域市町村圏組合	昭和47年12月1日	火災、救急、その他の災害
	南会津地方広域市町村圏組合	昭和49年7月1日	火災、救急、その他の災害
	郡山地方広域消防組合	昭和49年8月1日	火災、救急、その他の災害
	福島市	昭和50年8月1日	火災、救急、その他の災害
磐越自動車道消防相互応援協定	郡山地方広域消防組合	平成3年7月5日	火災、救急、その他の災害
	安達地方広域行政組合	平成3年7月5日	火災、救急、その他の災害
	いわき市	平成7年7月22日	火災、救急、その他の災害
	喜多方地方広域市町村圏組合	平成8年10月17日	火災、救急、その他の災害
消防団相互の応援協定	圏域内 10 市町村	昭和54年11月15日	火災、その他の災害
災害通報に関する協定	圏域内ハイヤー・タクシー業者	昭和54年12月15日	火災、救急、その他の災害通報
ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する業務協約	県内 11 消防本部	平成9年12月26日	火災、救急、その他の災害
クレーン車の協力に関する協定	圏域内民間クレーン業者	昭和59年8月21日	中高層建築物火災等の災害及び事故・人命救助

2 主な相互応援協定出動

「東日本大震災」に係る当消防本部の活動状況

消防相互応援協定は市町村長が消防組織法第39条第2項に基づき締結した協定であり、当消防本部も発災直後から人命救助活動等に加え、発災数日後から増加した避難所からの救急搬送要請への対応にあたりました。

○発災日時

- ・平成23年3月11日(金) 14時46分

○活動内容

- ・3月11日～13日 第1次隊 4隊12名 搜索活動(※3名の遺体発見)及び救急搬送(※2名の傷病者搬送)
- ・3月13日～14日 第2次隊 3隊9名 搜索活動(※6名の遺体発見)
- ・3月14日～15日 第3次隊 3隊9名 (※福島第一原子力発電所3号機爆発のため活動中止命令により県消防学校まで撤退)
- ・3月11日～15日 県消防防災航空センター支援活動のため3名派遣
- ・3月17日～4月11日 救急隊支援活動 22隊52名出動(※22名の傷病者搬送)
- ・5月12日～8月12日 原発20キロ圏内一時帰宅に伴う救急支援 33隊86名派遣(※2名の傷病者搬送)

第38回会津若松地方広域消防本部主催防火ポスター展入賞作品

予
防



優秀賞
磐梯町立磐梯第二小学校
いけだ ひなた
池田 陽向



優秀賞
磐梯町立磐梯第二小学校
かとう ひな
加藤 姫那



最優秀賞
会津若松市立城北小学校
たいら るり
平 瑠梨



優秀賞
会津若松市立一箕小学校
わたなべ たくむ
渡辺 拓夢



優秀賞
会津若松ザベリオ学園小学校
えんどう あかり
遠藤 あかり



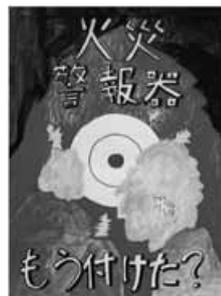
会津森林管理署長賞
会津若松ザベリオ学園小学校
ほんま ひびき
本間 響



福島民友新聞社若松支社長賞
会津若松市立湊小学校
こさか まなと
小坂 真人



優秀賞
会津美里町立高田小学校
ふくだ みゆ
福田 美優



会津若松地方消防設備協会長賞
会津美里町立宮川小学校
こいけ まりな
小池 菜里奈



会津若松地方防火管理者会長賞
会津若松ザベリオ学園小学校
ふじた かいこう
藤田 海光



会津若松地方危険物安全協会長賞
会津若松市立城南小学校
ふかや ひなた
深谷 ひなた



福島県石油商業組合会津若松支社長賞
湯川村立箕川小学校
こぼやし あすか
小林 明日香



福島民報社会津若松支社長賞
湯川村立箕川小学校
いしだ あいな
石田 愛奈



東北電力㈱会津若松支社長賞
会津若松市立城南小学校
おおもも かなな
大桃 カナナ



若松ガス㈱社長賞
会津若松市立謹教小学校
やまぐち ゆうせい
山口 雄世

「付けましたか?大切な命を守る住宅用火災警報器」 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

予 防 行 政 に つ い て

平成29年4月現在、当消防本部管内には、およそ7千3百件の防火対象物があり、防火管理者の選任が必要な防火対象物はおよそ2千件ののほります。これらの防火対象物に対しては、積極的に立入検査を実施し、防火管理の徹底について指導しているところであります。しかしながら、未だ防火管理者未選任等の違反对象物、消防用設備等に違反のある防火対象物が数多く存在しています。これらの違反等を適切に是正していくためには、地域特性に応じた立入検査計画による継続的な立入検査の実施、発見された違反对象物についてその指導状況の確認、指導の停滞の解消、違反処理への速やかな移行等、査察マネジメント体制の確立が求められています。

一方、住宅火災に目を向けると、全国の住宅火災による死者数は、平成18年以降減少傾向にあるものの、年間1千人前後の高い水準で推移しており、65歳以上の高齢者がおよそ7割を占めています。昨年の当消防本部管内における火災による死者4名は、いずれも住宅火災で発生しており、その内3名が高齢者でした。住宅火災による死者ゼロを目指し被害低減を図るためには、住宅用火災警報器の設置が重要であり、関係機関と連携し、災害弱者に重点を置いた設置普及啓発を行っているところであります。

また、住宅用火災警報器は、新築住宅への設置が開始され10年以上が経過し、機器の交換が必要な時期となったことから、設置促進と合わせ維持管理についても広報を行っています。しかしながら、当消防本部管内の条例適合設置率は60%と停滞しており、今後、設置促進に向け新たな取り組みを考えているところであります。

平成28年中の危険物施設における火災及び流出事故は、全国で580件発生しており、前年に比べて19件減少していますが、未だ高い水準で推移しています。当消防本部管内においても14件の危険物に関する事故が発生しました。危険物施設の適切な維持管理、事故の発生原因、効果的な事故防止対策等について適切に周知するとともに、危険物の安全な貯蔵・取扱いなどについて、危険物安全週間などを通じて広く地域住民にも周知しているところであります。

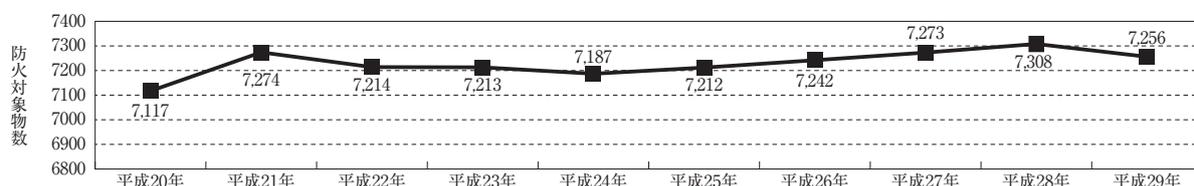
防火対象物数

(平成29年4月1日現在)

市町村名		会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合計	平成28年	前年比
1	イ 劇場・映画館等	6			1							7	7	
	ロ 公会堂・集会場	44	5	6	14	4	4	1	2	3	15	98	102	△4
2	イ キャバレー・クラブ等	2										2	2	
	ロ 遊技場・ダンスホール	18		2	2						3	25	27	△2
	ハ 性風俗関連店舗等													
	ニ カラオケボックス等	7			1							8	8	
3	イ 待合・料理店等	10			3						3	16	18	△2
	ロ 飲食店	183	6	45	23		3	1	4	1	4	270	275	△5
4	百貨店・マーケット等	322	3	45	43	4	4	1	1	2	18	443	441	2
5	イ 旅館・ホテル等	78	26	127	5	1	13	11	12	3	6	282	298	△16
	ロ 共同住宅等	1,503	13	70	75	1	5	8	7	6	62	1,750	1,744	6
6	イ 病院・診療所等	106		11	6		3	1	1		8	136	152	△16
	ロ 救護・乳児院・認知症グループホーム等	64	1	8	8	3	2	1	2	1	11	101	101	
	ハ 老人福祉施設・地域活動支援センター等	108	5	17	16	3	5	2	4	1	17	178	168	10
	ニ 幼稚園・特別支援学校	24	1	1	2	1					1	30	36	△6
7	小学校等	153	3	12	16	3	8	4	6	5	22	232	237	△5
8	図書館・博物館・美術館	25	1	7	1	1	4		1	2	1	43	40	3
9	イ 蒸気・熱気浴場等													
	ロ 公衆浴場	2		2	1			2	2	1	3	13	14	△1
10	停車場等	3										3	6	△3
11	神社・寺院・教会等	69	1	8	5		2		1		8	94	96	△2
12	イ 工場・作業場	696	68	68	113	33	20	13	12	11	135	1,169	1,164	5
	ロ 映画・テレビスタジオ													
13	イ 車庫・駐車場	18	5	13	10	3	8	6	8	6	10	87	105	△18
	ロ 格納庫										1	1	1	
14	倉庫	501	59	51	74	22	6	9	11	9	91	833	868	△35
15	前項に該当しない事業場	538	30	73	65	14	19	11	19	14	62	845	822	23
16	イ 特定対象物が存在する複合対象物	319	5	19	26	4	5	3	8	4	20	413	407	6
	ロ 上記以外の複合対象物	126		7	2			1	2	1	4	143	134	9
17	文化財	8	5	9	2	1	1		1		7	34	35	△1
18	延長50m以上のアーケード													
合計		4,933	237	601	514	98	112	75	104	70	512	7,256	7,308	△52

平成29年4月1日現在、防火対象物は7,256件あり、前年に比べ52件減少している。過去10年間では、平成20年から平成21年にかけて約150件増加し、その後、平成24年まで緩やかに減少。平成24年以降、毎年約30件増加していたが、平成29年約50件減少している。

また、防火対象物の区分別にみると、共同住宅等が1,750件と最も多く、次いで工場・作業場1,169件、その他の事業場が845件となっている。



消防法第8条該当防火対象物数

(平成29年4月1日現在)

防火対象物の区分		市町村名											合 計
		会 津 若 松 市	磐 梯 町	猪 苗 代 町	会 津 坂 下 町	湯 川 村	柳 津 町	三 島 町	金 山 町	昭 和 村	会 津 美 里 町		
1	イ	劇場・映画館等	6			1							7
	ロ	公会堂・集会場	45	5	6	12	4	3	1	2	1	15	94
2	イ	キャバレー・クラブ等	2										2
	ロ	遊技場・ダンスホール	18		2	1						3	24
	ハ	性風俗関連店舗等											
	ニ	カラオケボックス等	7			1							8
3	イ	待合・料理店等	7			3						4	14
	ロ	飲食店	165	5	37	19		3	1	4		3	237
4		百貨店・マーケット等	250	3	21	34	1	2		1	1	14	327
5	イ	旅館・ホテル等	58	15	84	4	1	11	10	8	2	7	200
	ロ	共同住宅等	122	3	4	1				1			131
6	イ	病院・診療所等	29			2			1	1		1	34
	ロ	救護・乳児院・認知症グループホーム等	64	1	8	8	3	2	1	2	1	9	99
	ハ	老人福祉施設・地域活動支援センター等	81	4	9	9	3	4	2	1	1	16	130
	ニ	幼稚園・特別支援学校	25	1	2	2	1					1	32
7		小学校等	56	3	10	6	3	2	1	5		8	94
8		図書館・博物館・美術館	14	1	6			2		1			24
9	イ	蒸気・熱気浴場等											
	ロ	公衆浴場			1	1				1		3	6
10		停車場等	2										2
11		神社・寺院・教会等	7		2	4						2	15
12	イ	工場・作業場	111	3	5	18	3	2				9	151
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13	イ	車庫・駐車場											
	ロ	格納庫											
14		倉庫	12										12
15		前項に該当しない事業場	78	5	15	13	4	3	2	9	5	11	145
16	イ	特定対象物が存在する複合対象物	203	4	12	22	3	3	3	5	4	14	273
	ロ	上記以外の複合対象物	8								1		9
17		文化財	2		4								6
18		延長50m以上のアーケード											
合 計			1,372	53	228	161	26	37	22	41	16	120	2,076

立 入 検 査 状 況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

防火対象物の区分		市町村名											合 計
		会 津 若 松 市	磐 梯 町	猪 苗 代 町	会 津 坂 下 町	湯 川 村	柳 津 町	三 島 町	金 山 町	昭 和 村	会 津 美 里 町		
1	イ	劇場・映画館等											
	ロ	公会堂・集会場	4	4		13	4	4	1	2	1	12	45
2	イ	キャバレー・クラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール	1		2	2							5
	ハ	性風俗関連店舗等											
3	イ	待合・料理店等				4						2	6
	ロ	飲食店	8	5	8	7		1	1	3	1	1	35
4		百貨店・マーケット等	16	2	11	27	2	4	1	1	2	11	77
5	イ	旅館・ホテル等	32	8	36	2	1	11	11	7	3	7	118
	ロ	共同住宅等	1	2	3	10			5	4	6	3	34
6	イ	病院・診療所等	5		2			2	1	1		6	17
	ロ	救護・乳児院・認知症グループホーム等	9		8	6	2	2	1	2	1	10	41
	ハ	老人福祉施設・地域活動支援センター等	23	3	4	13	3	4	2	4	1	19	76
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	1		2						1	8
7		小学校等	4	2		5		4	2	6	5	13	41
8		図書館・博物館・美術館	11					4			2		17
9	イ	蒸気・熱気浴場等											
	ロ	公衆浴場							2	1	1	3	7
10		停車場等											
11		神社・寺院・教会等	1					2				1	4
12	イ	工場・作業場	28	12	14	1	7	12	12	2	11	58	157
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13	イ	車庫・駐車場		3	2		1	4	5	5	6	2	28
	ロ	格納庫											
14		倉庫	19	3	21	4	2	2	6		9	37	103
15		前項に該当しない事業場	12	8	10	2	2	8	8	11	12	22	95
16	イ	特定対象物が存在する複合対象物	9	2	5	7	4	4	3	3	3	9	49
	ロ	上記以外の複合対象物	2		2				1		1	1	7
17		文化財	4	5	1	2		1		1			14
18		延長50m以上のアーケード											
合 計			195	60	129	108	28	69	62	53	65	218	987

予
防

階数別防火対象物数

(平成29年4月1日現在)

階数 市町村名	4 以下	5 ・ 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19 以上	計
会津若松市	4,758	115	13	16	6	10	4	4	3	3		1				4,933
磐梯町	236	1														237
猪苗代町	589	8	1					1		1				1		601
会津坂下町	509	5														514
湯川村	98															98
柳津町	112															112
三島町	75															75
金山町	101	3														104
昭和村	70															70
会津美里町	512															512
計	7,060	132	14	16	6	10	4	5	3	4	0	1	0	1	0	7,256

消 防 同 意 件 数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

市町村名 申請区分	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合計	平成27年度	前年比
新築	192	6	30	22	6		4	1		39	300	269	31
増築	5	2	2	6						14	29	23	6
改築												1	△1
移転												1	△1
修繕													
模様替													
用途変更	5		1				1		2		9	6	3
その他	36									8	44	25	19
計	238	8	33	28	6	0	5	1	2	61	382	325	57

消防同意件数について、平成28年度は382件で、平成27年度の325件から57件増加した。

特に新築に伴う消防同意件数が平成28年度は300件で、平成27年度の269件から31件増加している。

消 防 ク ラ ブ の 状 況

(平成29年4月1日現在)

市町村名 クラブ区分	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合計
幼年消防クラブ	7	1	2	2	1	2	1	2	1	5	24
	336	42	80	119	55	66	11	9	15	278	1,011
少年消防クラブ	13	2	1	2	2	2	1	2	1	4	30
	429	40	19	76	37	29	12	16	10	188	856
女性防火クラブ	1	-	1	2	1	1	1	1	1	1	10
	154	-	143	201	37	73	休止中	450	386	休止中	1,444

上段：クラブ数 下段：クラブ員数

平成29年4月1日現在、幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブは上記のとおりとなっている。

予
防



【平成28年 8月28日 福島県総合防災訓練】

危険物行政について

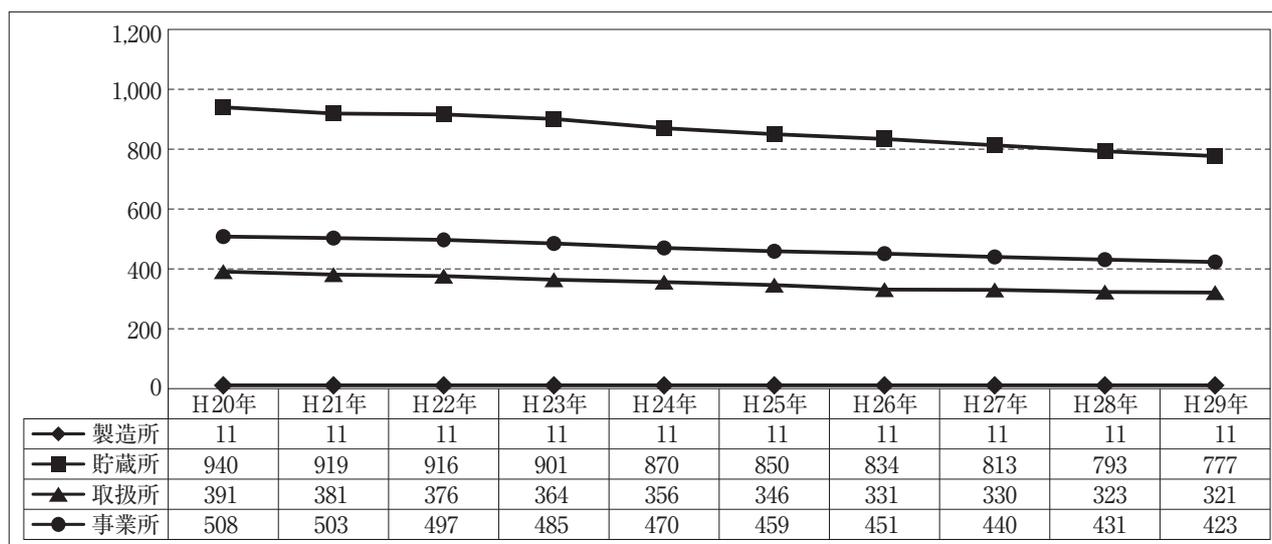
平成29年4月1日現在における当消防本部管内の危険物施設数は、1,109施設、事業所数は、423事業所となっている。

危険物施設数を許可区分別にみると、地下タンク貯蔵所が354施設（31.9%）と最も多く、次いで移動タンク貯蔵所が225施設（20.3%）、一般取扱所が171施設（15.4%）の順となっている。

市町村別危険物施設数

平成29年4月1日現在

製造所別 署・市町村別		製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	鉄 道・船 舶給 油取 扱所	自 家 用 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計	事 業 所 数
会津若松 消防署	会津若松市	10	69	35	10	178		149	3	43	3	31	74	605	226
	湯川村		1	1		8		1		1			2	14	6
猪苗代 消防署	猪苗代町		4	13	2	82	1	31		13	1	7	24	178	75
	磐梯町		8	16	1	18		3	2	3		4	16	71	13
会津坂下 消防署	会津坂下町		8	1	3	26		17		7		9	17	88	41
	柳津町	1	2	4		9		7		3		1	12	39	11
	三島町		1			4		2		1	1		3	12	4
	金山町		1		1	6		5		5	1	1	11	31	11
	昭和村			2		2		1		2			2	9	6
会津美里 消防署	会津美里町		7	2		21		9		9		4	10	62	30
合 計		11	101	74	17	354	1	225	5	87	6	57	171	1,109	423



平成29年4月1日現在における危険物施設の総数は、1,109施設であり前年同期の1,127施設と比較し18施設減少した。過去10年間の施設別の推移をみると製造所は、横ばいの数値であり、貯蔵所、取扱所にあつては、減少傾向を示している。事業所数についても、減少傾向を示しており8事業所減少となった。

類別危険物施設数

平成29年4月1日現在

製造所別	類別						混在	計
	単			独				
	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		
製造所	1	1		4			5	11
屋内貯蔵所	2	3	2	89		1	4	101
屋外タンク貯蔵所				74				74
屋内タンク貯蔵所			2	15				17
地下タンク貯蔵所				354				354
簡易タンク貯蔵所				1				1
移動タンク貯蔵所		1		224				225
屋外貯蔵所				5				5
給油取扱所				87				87
鉄道・船舶給油取扱所				6				6
自家用給油取扱所				57				57
一般取扱所		2		166			3	171
合計	3	7	4	1,082	0	1	12	1,109

※ 単独とは、類を同じくする危険物のみを貯蔵し、又は取扱っている製造所等
 混在とは、類を異にする危険物を貯蔵し、又は取扱っている製造所等

類別の危険物施設の推移（過去10年間）

年別	類別						混在	計
	単			独				
	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		
平成20年	3	6	3	1,314		2	14	1,342
平成21年	3	6	3	1,284		2	13	1,311
平成22年	3	6	3	1,276		2	13	1,303
平成23年	3	7	3	1,249		2	12	1,276
平成24年	3	7	3	1,209		2	12	1,236
平成25年	3	7	4	1,180		2	11	1,207
平成26年	3	7	4	1,149		2	11	1,176
平成27年	3	7	4	1,127		1	12	1,154
平成28年	3	7	4	1,100		1	12	1,127
平成29年	3	7	4	1,082		1	12	1,109

過去10年間の類別の危険物施設数の推移をみると、第4類の危険物を取り扱う施設が、232施設の減少となっている。

市町村別危険物施設申請・届出数

平成28年4月1日～平成29年3月31日

申請・届出別 署・市町村別		設置		変更		他許可行政庁から転入	他許可行政庁に転出	完成検査前検査申請	仮使用承認申請	仮貯蔵・仮取扱承認申請	予防規程認可申請	譲渡引渡届	品名数量倍数変更届	廃止届	保安監督者選解任届	在庫管理等計画届	資料提出届	合計
		許可申請	完成検査申請	許可申請	完成検査申請													
会津若松消防署	会津若松市	7	8	22	20			1	13		2	20	4	19	33		118	267
	湯川村																1	1
猪苗代消防署	猪苗代町	5	4	5	3		1		1		2	4		4	12	1	26	68
	磐梯町			6	6				6			4			8		7	37
会津坂下消防署	会津坂下町			1					1					3	3		6	14
	柳津町														4		6	10
	三島町			2	2				2	2					2		1	11
	金山町			1	1				1	1					5		4	13
	昭和村													1	1		2	4
会津美里消防署	会津美里町	1	1	4	4				3			7		3		1	11	35
合計		13	13	41	36	0	1	1	27	3	4	35	4	30	68	2	182	460



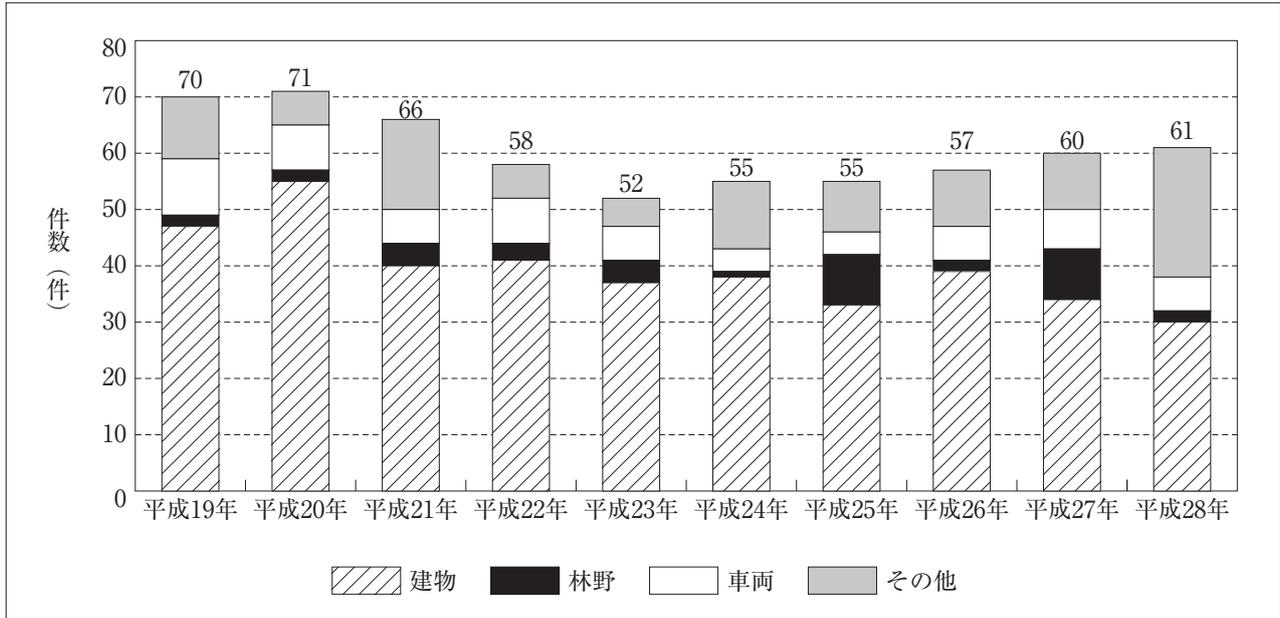
【平成28年 8 月28日 福島県総合防災訓練】

火 災 状 況

火災件数	61件	前年に比べ1件の増	(前年60件)
建物火災	30件	前年に比べ4件の減	(前年34件)
死 者	4人	前年と同数	(前年 4人)
負 傷 者	15人	前年に比べ3人の増	(前年12人)

出火原因	1 位	放火の疑い	10件
	2 位	放火	5件
	3 位	こんろ	4件

1 火災件数の推移

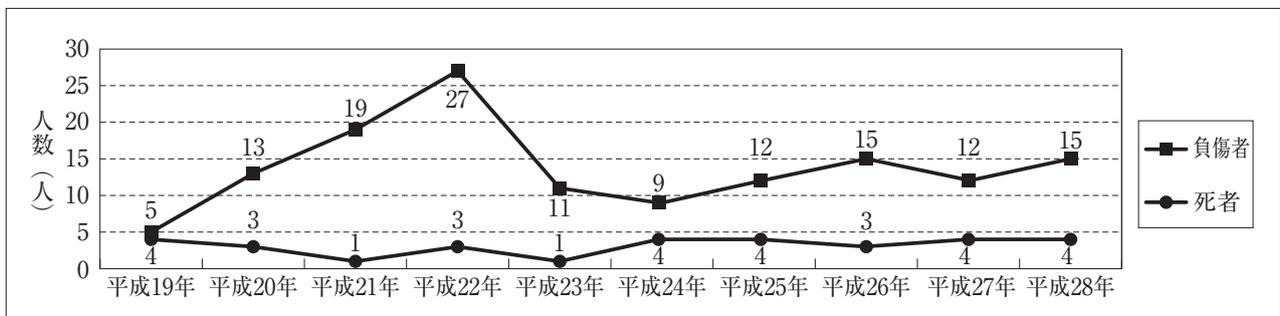


種別	火災件数	建 物	林 野	車 両	その他
平成19年	70	47	2	10	11
平成20年	71	55	2	8	6
平成21年	66	40	4	6	16
平成22年	58	41	3	8	6
平成23年	52	37	4	6	5
平成24年	55	38	1	4	12
平成25年	55	33	9	4	9
平成26年	57	39	2	6	10
平成27年	60	34	9	7	10
平成28年	61	30	2	6	23
年平均	60.5	39.4	3.8	6.5	10.8

平成28年中の出火件数は61件であり、前年の60件と比べ1件増加した。火災種別区別に出火件数をみると、建物火災が30件（全体の49.2%）と最も多く、次いでその他火災23件（37.7%）、車両火災6件（9.8%）、林野火災2件（3.3%）となっている。

これらを前年と比べると、建物火災が4件の減、その他火災が13件の増、車両火災が1件の減、林野火災が7件の減となっている。

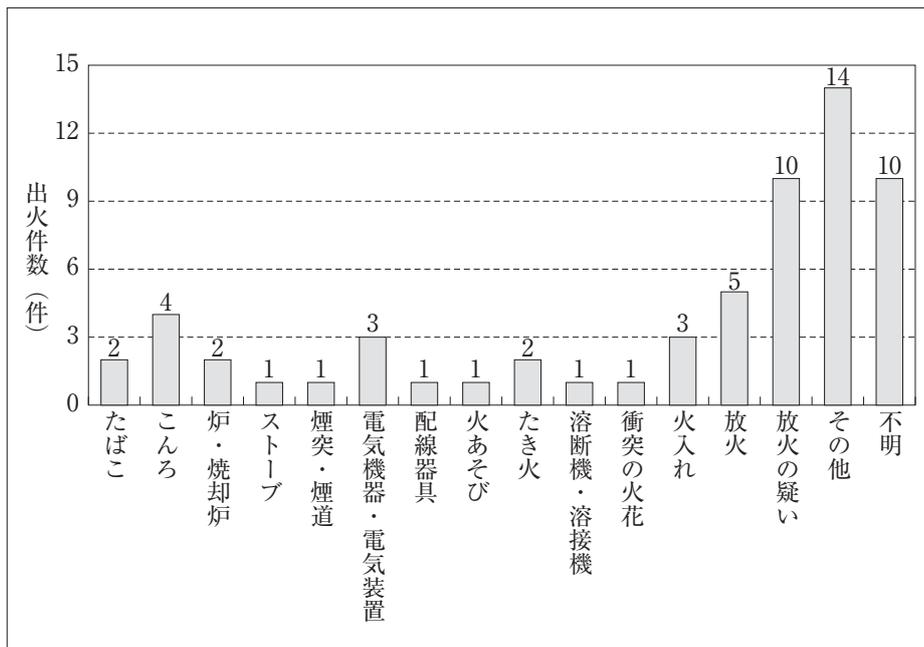
2 火災による死者等の状況



平成28年中の火災による死者数は4人で、前年と同数であった。また、年齢・性別では、90歳代の男性、80歳代の男女、60歳代の男性となっており、すべてが応急消火義務者であった。

火災による負傷者は15人で、前年に比べると3人増加した。また、年齢別では、15歳未満がなし、15歳以上65歳未満6人、65歳以上9人となっており、性別では、男性10人、女性5人となっている。

3 出火原因



出火原因の主なものは、放火の疑いが10件、放火によるものが5件となっており、これらの出火原因によるものが全体の24.6%を占めており、前年（計4件）より11件増加している。また、前年（平成27年）の出火原因で最も多かった、火入れ（前年4件）は1件減少している。

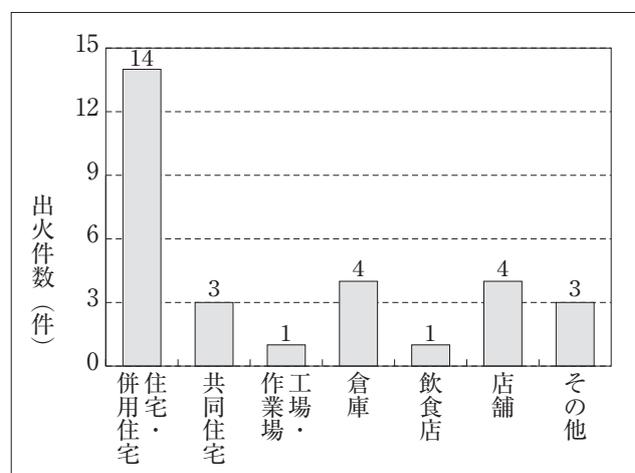
4 焼損程度別出火件数

区分	平成28年	%	平成27年	%
建物火災	30	49.2	34	56.6
焼損程度別	(全焼)	(10)	(7)	(20.6)
	(半焼)	(4)	(2)	(5.9)
	(部分焼)	(6)	(4)	(11.8)
	(ぼや)	(10)	(21)	(61.7)
林野火災	2	3.3	9	15.0
車両火災	6	9.8	7	11.7
その他火災	23	37.7	10	16.7
計	61	100.0	60	100.0

火災の内訳は左表のとおりとなっており、建物火災における焼損程度別では、全焼が10件、半焼が4件、部分焼が6件、ぼやが10件となっている。

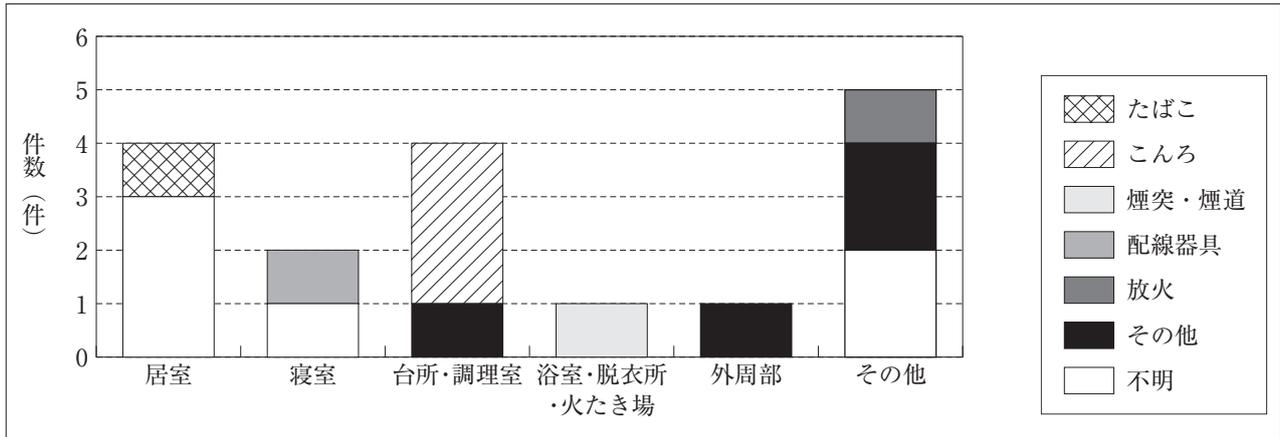
5 建物火災用途別内訳

用途別	平成28年	平成27年	前年比
住宅・併用住宅	14	9	5
共同住宅	3	6	-3
工場・作業場	1	9	-8
倉庫	4	5	-1
飲食店	1	0	1
店舗	4	2	2
その他	3	3	0
計	30	34	-4



建物火災の用途別内訳は上記のとおりであり、住宅（併用住宅・共同住宅を含む）における火災が計17件（56.7%）と占める割合が高い。

6 住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む）における発火源と出火箇所の関係



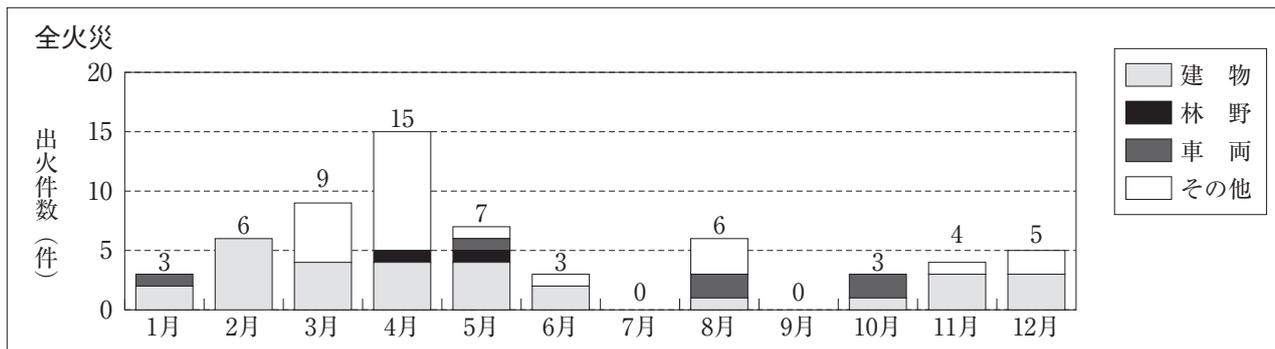
出火箇所 発火源	居 室	寝 室	台所・ 調理室	浴室・脱衣所・ 火たき場	外周部	その他	合計
たばこ	1						1
こんろ			3				3
煙突・煙道				1			1
配線器具		1					1
放 火						1	1
そ の 他			1		1	2	4
不 明	3	1				2	6
合 計	4	2	4	1	1	5	17

住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む）の原因と予防対策について

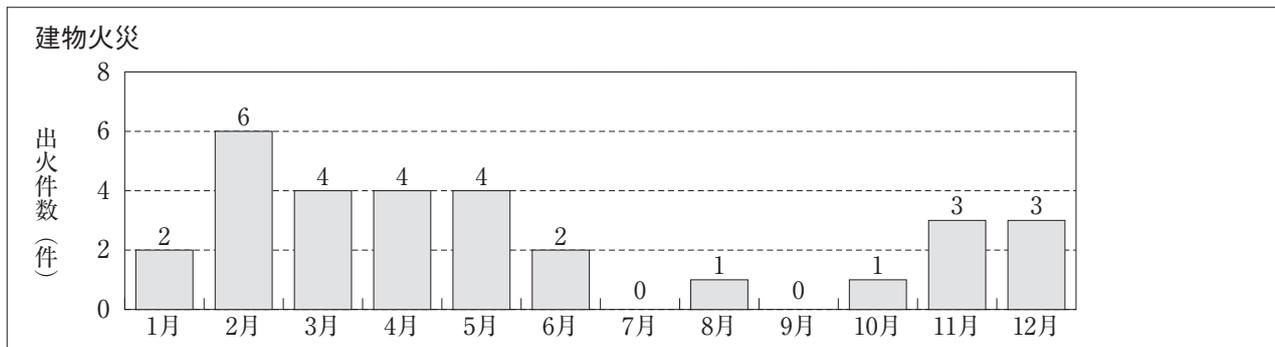
全火災件数に占める建物火災の割合は49.2%を占め、建物火災に対する住宅火災が56.7%を占めている。発火源別では、こんろが3件、たばこ、煙突・煙道、配線器具、及び放火がそれぞれ各1件であり、これらが住宅火災全体の発火原因の41.2%を占めている。出火箇所では、居室、台所等が各4件（23.5%）、寝室が2件（11.8%）となっており、これらの出火箇所が住宅火災の出火箇所の58.8%を占めている。住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、台所・調理室においてこんろから3件の出火があり、原因は調理中の不注意に起因するものであった。また、その他の出火原因については多様であり、住宅内の出火危険は多岐にわたることから、住宅用火災警報器のほか、住宅用消火器、防災品等による総合的な住宅防火対策を推進する必要がある。

平成28年の当消防本部管内における火災による死者数は4人で、すべて住宅火災で発生したものであり、前年に引き続き、火災予防啓発や火災予防思想の普及はもとより、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理を含めた徹底した住宅防火対策の整備が重要であると考えられる。

7 月別火災発生状況

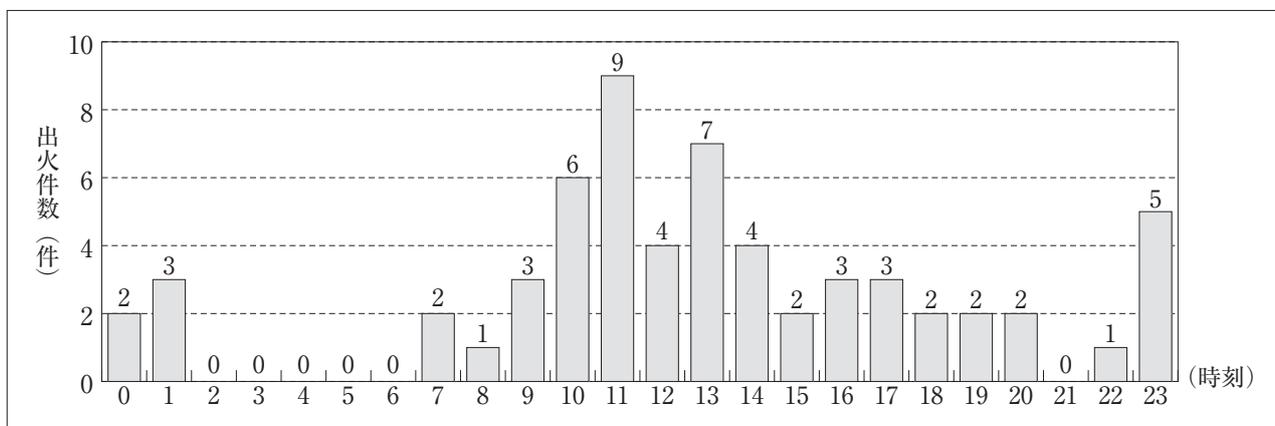


火災種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物	2	6	4	4	4	2		1		1	3	3	30
林野				1	1								2
車両	1				1			2		2			6
その他			5	10	1	1		3			1	2	23
合計	3	6	9	15	7	3	0	6	0	3	4	5	61



平成28年の月別火災発生状況を見ると、空気が乾燥し火災の発生しやすい3月から5月の火災発生件数は31件（全体の50.8%）となっており、その内、河川敷や田畑等が焼けたその他火災が16件（51.6%）となっている。

8 時間別火災発生状況



平成28年の時間別火災発生状況では、10時から14時の時間帯に発生した火災件数が計30件と高い数値を示しており、当該時間帯における火災種別としてはその他火災が16件と最も多く、次いで建物火災11件、林野火災2件、車両火災1件となっている。

平成28年（1月1日～12月31日）火災総括表

種別 市町村別	出火件数							焼損棟数								り 災 世 帯 数	火 災 に よ る 死 者	う ち 自 殺 者	負 傷 者 数	
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	平 成 27 年	増 減	火元建物				延焼建物								合 計
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					
会津若松市	21		5	10	36	38	△2	7	2	3	9	2	0	10	2	35	24	3		12
湯川村				3	3		3													
会津坂下町	1			6	7	4	3		1							1				1
柳津町				1	1	1														
三島町					0	2	△2													
金山町		1			1	1														
昭和村		1			1	0	1													
猪苗代町	1				1	8	△7	1							2	3				
磐梯町	3		1	1	5	3	2		1	2						3	1			
会津美里町	4			2	6	3	3	2		1	1	1		5		10	6	1		2
合計	30	2	6	23	61	60	1	10	4	6	10	3		15	4	52	31	4		15

平成27年	34	9	7	10	60			7	2	4	21	2		6		42	24	4	1	12
増減	△4	△7	△1	13	1			3	2	2	△11	1		9	4	10	7		△1	3

種別 市町村別	た ば こ	こ ん ろ	か ま ど	風 呂 釜	炉 ・ 焼 却 炉	ス ト ー ブ	こ た つ	ボ イ ラ ー	煙 突 ・ 煙 道	排 気 管	電 機 機 器	電 機 装 置	電 灯 ・ 電 話	等 の 配 線	内 燃 機 関	配 線 器 具
会津若松市	1	4			1						3					1
湯川村																
会津坂下町																
柳津町					1											
三島町																
金山町																
昭和村																
猪苗代町						1										
磐梯町																
会津美里町	1								1							
合計	2	4			2	1			1		3					1

平成27年	2	3			1	3	1	1	1		1	2	1	1		1
増減		1			1	△2	△1	△1			2	△2	△1			

火災

焼 損 面 積			損 害 額 (千円)						
建物 (㎡)		林 野 (a)	建 物	収容物	林 野	車 両	その他	爆 発	合 計
床 面 積	表 面 積								
1,300	120		68,664	10,863		1,729	110		81,366
37	8		376						376
							46		46
		20							
		4			10				10
121			1,107	26					1,133
38	34		1,282	272		2,321			3,875
246	110		4,869	1,908		17			6,794
1,742	272	24	76,298	13,069	10	4,067	156		93,600

946	96	194	43,179	12,802	342	1,900	76	576	58,875
796	176	△ 170	33,119	267	△ 332	2,167	80	△ 576	34,725

火 遊 び	ラ マ イ ッ タ ー チ	た き 火	溶 接 機 器	溶 断 機 器	灯 火	衝 突 の 火 花	取 灰	火 入 れ	放 火	うち放火自損	放 火 の 疑 い	そ の 他	不 明	合 計
1			1					1	5		5	8	5	36
											1		2	3
								1			4	2		7
														1
													1	1
												1		1
						1		1				2	1	5
		2										1	1	6
1		2	1		1			3	5		10	14	10	61

		1	2					4	3	1	1	15	17	60
1		1	△ 1		1			△ 1	2	△ 1	9	△ 1	△ 7	1

昭和47年以降の主な火災事例

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	
S47 5/12	22:30	会津若松市	住 宅 非 住 宅	住8、非9	3	死 者 1 負傷者 8	2,625	25,000	
S48 4/21	19:00	昭 和 村	住 宅	14	3	死 者 1 負傷者 1	933	15,000	
	4/30 11:00	猪苗代町	林 野 原 野	-	-	-	50ha	6,915	
S49 5/13	13:00	〃	〃	-	-	-	16ha	5,140	
	7/20 4:30	会津本郷町	工 場	1	2	-	496	12,738	
S50 8/23	3:00	会津高田町	納 屋	3	-	-	307	3,000	
	10/28 3:40	会津若松市	工 場	1	-	-	508	35,000	
S51 5/19	2:30	〃	工 場	2	-	-	927	61,102	
	5/28 6:10	会津坂下町	店 舗 兼 宅 住	4	4	-	762	22,290	
	7/10 22:30	〃	住 宅	3	1	-	320	7,000	
	12/ 7 20:10	湯 川 村	工 場	-	1	負傷者 1	472	130,000	
S52 3/ 3	18:15	柳 津 町	旅 館	1	-	-	1,230	55,000	
	9/ 3 3:20	会津坂下町	工 場	1	-	-	1,119	90,000	
	12/18 4:57	会津若松市	旅 館	1	-	死 者 4 負傷者11	2,038	100,000	
S53 3/22	23:50	柳 津 町	住 宅	1	4	-	413	8,000	
S55 9/ 3	0:50	会津高田町	共同住宅	1	2	死 者 1 負傷者 3	517	13,000	
S57 5/ 9	8:00	〃	養 鶏 舎	2	-	-	342	3,700	
S59 1/ 1	4:15	会津坂下町	寺 院	2	-	-	367	6,800	
	5/ 7 16:23	河 東 町	工 場	1	-	負傷者 1	488	9,710	
	5/ 9 2:50	金 山 町	店 舗	2	-	-	320	8,325	
S60 2/16	2:20	会津高田町	工 場	2	3	-	402	40,000	
	4/23 5:05	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 3 負傷者 1	193	8,000	
S62 5/ 9	7:35	会津坂下町	工 場	2	-	-	719	14,300	
S63 4/24	10:30	金 山 町	住 宅	1	2	死 者 1	298	7,740	
	5/ 2 3:28	会津若松市	連続放火6件	全焼1、車両1、その他4			139	129,000	
	11/ 7 21:30	北 会 津 村	農作業所	3	3	-	309	9,910	
H元 4/ 4	13:25	金 山 町	住 宅	3	-	-	534	11,450	
H 3 12/10	16:45	猪苗代町	箕輪スキー場東側にて温泉掘削中、可燃性ガスが噴出（地下600mより）し、高さ10mの炎上がる						
H 4 2/12	22:10	三 島 町	住 宅	2	-	-	417	8,109	
H 5 6/ 9	14:30	会津若松市	ホ テ ル	1	1	負傷者 1	923	6,200	

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	
H5 9/21	23:25	会津坂下町	空 き 家	1	-	負傷者 1	373	16,950	
H6 5/29	1:30	会津高田町	連続放火	→ パイプ車庫2ヶ所					
	5/31 0:24	〃	連続放火	→ パイプ車庫2ヶ所、ビニールハウス1ヶ所					
H7 6/15	17:35	河 東 町	工 場	(爆発)		死 者 1 負傷者 5	194	159,868	
	11/22 12:40	会津若松市	住 宅	2	3	死 者 1	507	4,710	
H8 11/14	2:55	会津坂下町	店 舗 兼 住 宅	2	5	負傷者 1	369	19,542	
	12/31 4:45	〃	倉 庫	1	2	-	500	15,130	
H9 5/11	19:40	会津若松市	工 場	-	1	-	100	83,746	
	6/16 1:45	金 山 町	住 宅	2	1	-	319	20,933	
	9/7 2:03	新 鶴 村	作 業 所	4	-	-	326	35,000	
	9/19 2:40	会津坂下町	工 場	4	4	-	1,116	30,839	
H10 2/5	5:05	会津若松市	工 場	1	-	-	841	36,150	
	5/2 12:20	〃	住 宅	2	3	死 者 2	149	2,450	
H11 2/24	2:10	新 鶴 村	住 宅	3	4	-	495	11,325	
	12/25 16:00	会津若松市	住 宅 兼 倉 庫	1	-	-	483	30,590	
H12 8/24	13:40	河 東 町	寺 院	1	文化財 八葉寺 阿弥陀堂		46	13,000	
	9/2 2:50	会津若松市	店 舗 兼 アパ-ト	3	4	負傷者 1	754	21,015	
	12/11 4:00	会津高田町	住 宅	3	-	-	192	21,369	
H13 1/23	9:05	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 2	185	56,000	
	9/1 13:25	会津坂下町	店 舗 兼 住 宅	3	1	-	797	24,740	
H14 1/30	15:40	会津若松市	小 学 校	-	1	-	770	72,190	
	11/18 12:20	河 東 町	寺 院	1	会津無門庵 (正法寺別院)		204	26,000	
H15 1/6	5:35	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 2	175	2,900	
H16 2/28	2:15	会津若松市	住 宅	2	1	死 者 2 負傷者 2	215	10,890	
H18 1/24	12:45	会津坂下町	中 学 校 体 育 館	1	-	-	964	27,729	
	11/4 2:00	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 1 負傷者 1	564	22,572	
H19 2/28	0:35	会津若松市	飲 食 店	1	2	-	400	51,396	
	12/27 8:50	会津若松市	住 宅	1	1	死 者 1	115	1,698	

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
H19 12/31	13:40	会津若松市	駅 舎	-	1	-	77	9,870
H20 3/16	5:20	湯 川 村	工 場	-	1	-	1,411	564,413
10/29	18:45	会津美里町	神 社	1	-	-	250	34,555
12/16	6:20	会津坂下町	住 宅	1	-	死 者 1	160	3,286
H22 2/ 4	6:00	会津坂下町	事 務 所	1	-	死 者 1	10	455
5/ 9	17:30	昭 和 村	住 宅	1	3	死 者 1 負 傷 者 1	217	6,133
12/11	4:50	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 1	274	3,477
H24 1/27	3:00	会津美里町	住 宅	2	-	死 者 1	289	26,917
6/17	6:15	会津若松市	そ の 他 複 合 用 途	-	1	死 者 1	374	36,733
8/ 9	9:30	会津坂下町	畑	-	-	死 者 1	-	-
12/27	12:10	会津坂下町	住 宅	1	3	死 者 1	290	4,899
H25 3/18	15:40	会津若松市	住 宅	-	1	死 者 1	1	20
5/ 9	15:00	柳 津 町	畑	-	-	死 者 1	24 a	25
5/10	15:10	柳 津 町	天 然 林	-	-	死 者 1	10 a	-
H26 2/18	5:20	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 1	46	1,137
2/26	20:00	会津美里町	住 宅	1	2	死 者 1 負 傷 者 1	83	1,209
11/17	1:50	会津坂下町	住 宅	1	1	死 者 1 負 傷 者 4	231	7,747
H27 8/25	22:10	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 1	96	6,342
10/12	0:30	会津若松市	住 宅	2	1	死 者 1	230	14,235
10/31	23:45	会津若松市	住 宅	1	4	死 者 1	261	15,507
H28 2/ 1	23:00	会津若松市	住 宅	-	1	死 者 1	30	3,354
3/16	12:05	会津若松市	作 業 所 兼 住 宅	1	3	負 傷 者 1	284	13,476
4/ 4	20:30	会津若松市	住 宅	1	2	死 者 1 負 傷 者 1	448	18,505
4/24	10:05	会津若松市	店 舗	1	-	死 者 1	121	7,441
11/17	7:40	会津美里町	住 宅	2	5	死 者 1	316	6,185

(備考) 死者が生じたもの(自損又は30日死者を除く)、5世帯以上がり災したもの、公共施設の建物火災(公共住宅は除く)、危険物に係る事故を掲げた。



【平成28年 8月28日 福島県総合防災訓練】

各種災害出動件数の推移

種 別 \ 年 別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
火 災 出 動 件 数	57件	57件	60件	64件	69件
救 助 出 動 件 数	86件	90件	112件	91件	102件
そ の 他 の 出 動 件 数	418件	439件	424件	356件	364件
計	561件	586件	596件	511件	535件

市町村別災害出動件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

地域別 \ 種別	火災出動	救助出動	その他の出動	合 計
会 津 若 松 市	35	52	210	297
磐 梯 町	4	7	9	20
猪 苗 代 町	1	23	37	61
会 津 坂 下 町	7	4	33	44
湯 川 村	3	2	6	11
柳 津 町	1	2	9	12
三 島 町		1	2	3
金 山 町	1	2	8	11
昭 和 村	1	1	5	7
会 津 美 里 町	6	7	26	39
高 速 道 路	2	1	16	19
管 轄 外	8		3	11
合 計	69	102	364	535

月別火災出動件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種別 月別	建物	林野	車両	その他	合計
1月	2		1		3
2月	7				7
3月	4			6	10
4月	4	1		11	16
5月	4	2	2	1	9
6月	3		1	1	5
7月					0
8月	1		2	3	6
9月				1	1
10月	1		2		3
11月	3			1	4
12月	3			2	5
合計	32	3	8	26	69

警
防

市町村別火災出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種別 地域	建物	林野	車両	その他	合計
会津若松市	21		4	10	35
磐梯町	3			1	4
猪苗代町	1				1
会津坂下町	1			6	7
湯川村				3	3
柳津町				1	1
三島町					0
金山町		1			1
昭和村		1			1
会津美里町	4			2	6
高速道路			2		2
管轄外	2	1	2	3	8
合計	32	3	8	26	69

月別救助活動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

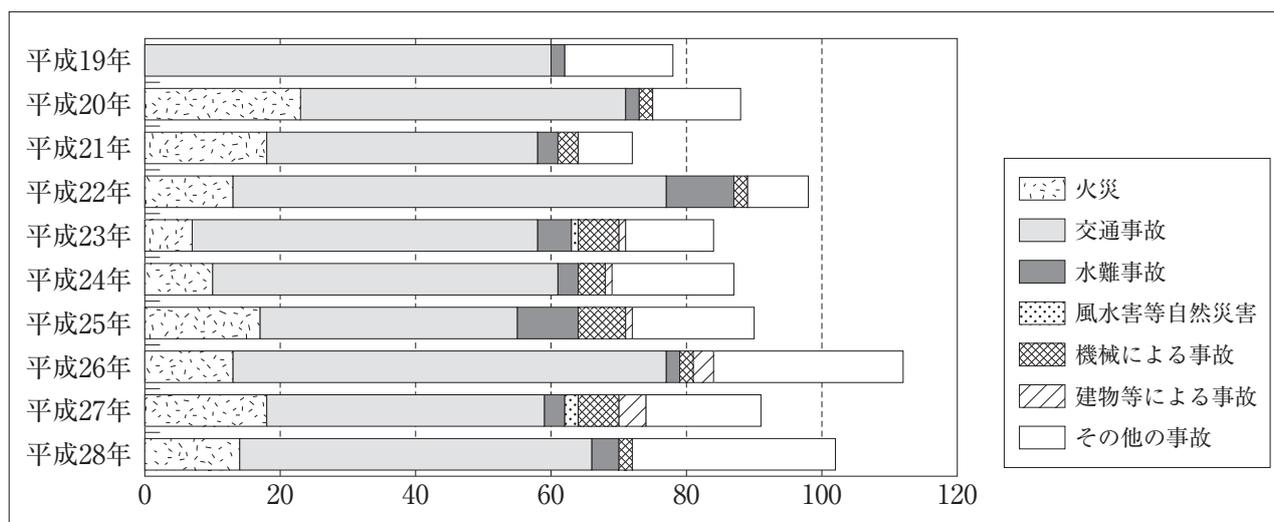
種別 月別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
1月	1		7							1	9
2月	3		4	1						1	9
3月	2		3								5
4月	1		1			1				1	4
5月	2		6	1						5	14
6月	2		9							7	18
7月			1			1				3	5
8月	1		3	1						3	8
9月			3	1						2	6
10月			6							5	11
11月	1		4							1	6
12月	1		5							1	7
合計	14	0	52	4	0	2	0	0	0	30	102

市町村別救助活動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種別 地域別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
会津若松市	14		21	3		1				13	52
磐梯町			4							3	7
猪苗代町			13	1						9	23
会津坂下町			4								4
湯川村			2								2
柳津町			1							1	2
三島町										1	1
金山町			2								2
昭和村			1								1
会津美里町			3			1				3	7
高速道路			1								1
管轄外											0
合計	14	0	52	4	0	2	0	0	0	30	102

救助件数の推移



種 別 年 別	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物 火 災	建 物 火 災 以 外								
平成19年	78			60	2						14
平成20年	88	22	1	48	2		2				16
平成21年	72	18		40	3		3				13
平成22年	98	12	1	64	10		2				8
平成23年	84	6	1	51	5	1	6	1			9
平成24年	86	9	1	51	3		4				13
平成25年	90	15	2	38	9		7	1			18
平成26年	112	10	3	64	2		2	3			18
平成27年	91	17	1	41	3	2	6	4			28
平成28年	102	14		52	4		2				30

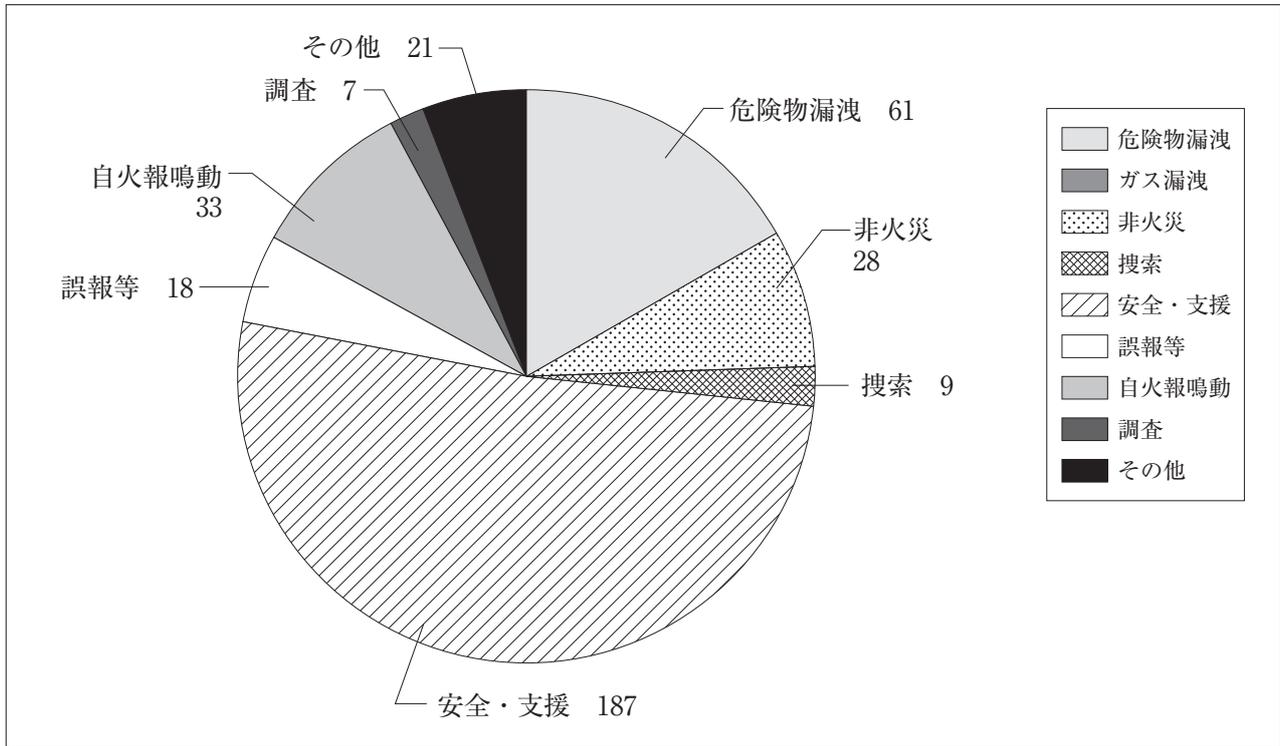
平成28年中における救助出動件数は、102件（前年比11件増）である。

なお、平成20年より火災事案には、特別救助隊の出動件数が含まれる。

102件の内訳は、火災事案14件、交通事故52件、水難事故4件、機械事故2件、その他の事故30件であり、交通事故が全体の約50%を占めている。

その他の出動件数の内訳

平成28年1月1日～平成28年12月31日



※その他には水害、雪害による出動件数が含まれる。

平成28年中におけるその他の出動件数は、364件（前年比8件増）である。

364件の内訳は、危険物漏洩61件、非火災28件、搜索9件、安全・支援187件、誤報等18件、自火報鳴動33件、調査7件、その他21件であり、救急隊を支援活動する安全支援出動が全体の51%を占めている。

月別出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

月別	種別	危険物漏洩	ガス漏洩	非火災	搜索	安全・支援	誤報等	自火報鳴動	調査	その他	合計
1月		4		1	2	9	2	4		2	24
2月		5				9	1	2		1	18
3月		5		9		11	1	3			29
4月		3		2		16	2	1		4	28
5月		10		4	2	16	1	1		2	36
6月				3		14		2	1	1	21
7月		7				15		5		1	28
8月		10		1		16	2	3	1	6	39
9月		7		1	1	20	1	4			34
10月		2		7	3	27	3	3	1	3	49
11月		2			1	19	3		3		28
12月		6				15	2	5	1	1	30
合計		61	0	28	9	187	18	33	7	21	364

市町村別出動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種別 地域別	危険物漏洩	ガス漏洩	非 火 災	捜 索	安全・ 支援	誤 報 等	自火報 鳴動	調 査	そ の 他	合 計
会津若松市	33		9	1	123	8	17	4	15	210
磐梯町	6			1			2			9
猪苗代町	10		3		15		6		3	37
会津坂下町	4		5	1	20		3			33
湯川村			2		1	3				6
柳津町	1				3	4	1			9
三島町					2					2
金山町	2		2	1				3		8
昭和村				3	2					5
会津美里町	5		4	2	5	3	4		3	26
高速道路					16					16
管轄外			3							3
合計	61	0	28	9	187	18	33	7	21	364

警
防

磐越自動車道路死亡事故件数

磐越道開通月日 平成3年8月7日（磐梯熱海インター～猪苗代磐梯高原インター）
 平成4年10月29日（猪苗代磐梯高原インター～会津坂下インター）
 平成8年10月17日（会津坂下インター～西会津インター）

NO.	発生日時	発生場所	消防自動車等 救急自動車	負傷者 (死者数)	事故概要
1	平成5年7月7日 9時15分	磐越自動車道上り線 新中山トンネル入口 86Kpt付近	1 台 2 台	男 2(2) 女 2(2)	反対車線に飛び出した乗用車が 対向車の普通トラックと衝突し た交通事故。
2	平成5年8月27日 18時04分	磐越自動車道上り線 121Kpt付近	2 台 2 台	男 2(2)	下り車線を走行していた乗用車 が中央分離帯を乗り越え、上り 車線走行中の乗用車に正面衝突 した交通事故。
3	平成5年8月31日 5時56分	磐越自動車道下り線 磐梯町布藤橋 106Kpt付近	1 台 1 台	男 1(1)	2 tトラックが横転し機関部よ り出火した単独事故。
4	平成6年6月13日 18時54分	磐越自動車道下り線 会津坂下町勝大地内 128Kpt付近	2 台 1 台	男 1 女 2(1)	上り車線を走行していた普通乗 用車がハンドル操作を誤り反対 車線ガードレールに衝突した交 通事故。
5	平成8年4月15日 8時41分	磐越自動車道下り線 磐梯河東IC付近 110Kpt地点	1 台 1 台	男 1(1)	磐梯河東IC出口分岐点に衝突 した単独事故。
6	平成10年12月1日 6時03分	磐越自動車道上り線 123Kpt付近	10 台 6 台	男 22(2) 女 12	濃霧により先頭車が停止したと ころへ大型トラック14台、大型 バス1台、乗用車3台が玉突き 状態になった追突事故。
7	平成13年3月23日 18時48分	磐越自動車道上り線 磐梯町大字更科字遠平 地内 104.3Kpt付近	2 台 2 台	男 2(1) 女 2	普通乗用車同士の衝突事故。
8	平成17年4月28日 6時19分	磐越自動車道上り線 猪苗代町大字磐里字島 田前地内 100.7Kpt地点	5 台 11 台	男 15(3) 女 8	大型バス（仙台行き高速夜行バ ス）が横転した単独事故。
9	平成19年1月29日 6時42分	磐越自動車道下り線 磐梯河東IC付近 110Kpt地点	2 台 1 台	男 1(1)	2 tトラックが10 tトラックに 後方から追突した交通事故。
10	平成20年5月2日 1時51分	磐越自動車道上り線 会津若松市一箕町松長 地内 114Kpt地点	1 台 1 台	男 1(1)	下り線を走行していたトラック が中央分離帯を突き破り上り車 線路肩に衝突、運転手が車外放 出された単独事故。

NO.	発 生 日 時	発 生 場 所	消防自動車等 救急自動車	負傷者 (死者数)	事 故 概 要
11	平成24年 5 月30日 13時15分	磐越自動車道上り線 121Kpt地点	5 台 3 台	男 5(2)	道路工事による交通規制のため 停車していた貨物車に大型貨物 車が追突し、その弾みで貨物車 が前方車両の大型貨物車に追突 した玉突き事故。
12	平成27年 7 月12日 17時00分	磐越自動車道上り線 124.9Kpt地点	2 台 1 台	男 1(1)	大型自動二輪車が普通乗用車と 接触し、その弾みで大型自動二 輪車の運転手が転倒し投げ出さ れた事故。
13	平成28年 9 月 5 日 15時20分	磐越自動車道上り線 109.5Kpt地点	2 台 2 台	男 4(2)	普通乗用車が舗装工事作業員 2 名と接触後作業用ダンプに衝突 した事故。

緊急消防援助隊

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害に際し、全国の消防機関相互が迅速に援助し、人命救助活動をより効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊が発足、指揮支援部隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊及び後方支援部隊等により構成されている。

- 1 沿革
- 平成7年6月30日 緊急消防援助隊発足
 - 平成8年1月16日 福島県緊急消防援助隊合同訓練参加（福島市）
隊旗授与
 - 平成16年10月23日 新潟中越地震
消火隊（1隊5名）、救急隊（1隊3名）、後方支援隊（1隊2名）
 - 平成20年6月14日 岩手・宮城内陸地震（第1次隊）
消火隊（1隊5名）、救急隊（1隊3名）、後方支援隊（2隊4名）
 - 平成20年6月16日 岩手・宮城内陸地震（第2次隊）
救助隊（1隊5名）、後方支援隊（2隊4名）
 - 平成20年7月24日 岩手県沿岸北部地震
救急隊（1隊3名）、後方支援隊（2隊4名）

2 当消防本部緊急消防援助隊登録部隊

隊の種類	登録隊数	登録人員	車両等種別区分（車両名）	登録年月
消火隊	6隊	5名	水槽付消防ポンプ自動車（若松ポンプ1）	平成21年3月
		5名	消防ポンプ自動車（若松ポンプ3）	平成22年4月
		5名	水槽付消防ポンプ自動車（猪苗代ポンプ1）	平成20年4月
		5名	水槽付消防ポンプ自動車（坂下ポンプ1）	平成16年4月
		5名	消防ポンプ自動車（猪苗代ポンプ2）	平成29年4月
		5名	消防ポンプ自動車（三島ポンプ1）	平成29年4月
救助隊	1隊	5名	救助工作車Ⅱ型（若松救助1）	平成20年4月
救急隊	4隊	3名	高規格救急車（若松救急2）	平成18年4月
		3名	高規格救急車（猪苗代救急1）	平成18年4月
		3名	高規格救急車（坂下救急1）	平成15年4月
		3名	高規格救急車（美里救急1）	平成16年4月
その他の特殊装備隊	1隊	3名	大型水槽車（若松水槽1）	平成8年12月
後方支援隊	2隊	2名	資機材搬送車2tトラック（若松資材1）	平成15年4月
		3名	指揮車（若松指揮2）	平成18年4月

3 第一次出動応援範囲

宮城県、山形県、栃木県、新潟県、茨城県

4 出動準備応援範囲

北海道、青森県、岩手県、秋田県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

5 地震アクションプランによる出動先

首都直下地震 東京都

東海地震 静岡県（予定）

東南海・南海地震 愛知県（予定）

南海トラフ地震 東海又は近畿地方の重点受援県 愛知県、三重県、和歌山県（予定）



【平成28年 8 月28日 福島県総合防災訓練】

救急出場件数及び搬送人員の推移

年 別 事故別	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	件数	人員								
急病事故	6,373	6,114	6,387	6,163	6,250	6,045	6,174	5,973	6,218	6,031
交通事故	646	794	680	810	718	843	622	694	692	791
その他の事故	2,061	1,929	2,099	1,993	2,174	1,997	2,066	1,927	2,032	1,885
合 計	9,080	8,837	9,166	8,966	9,142	8,885	8,862	8,594	8,942	8,707

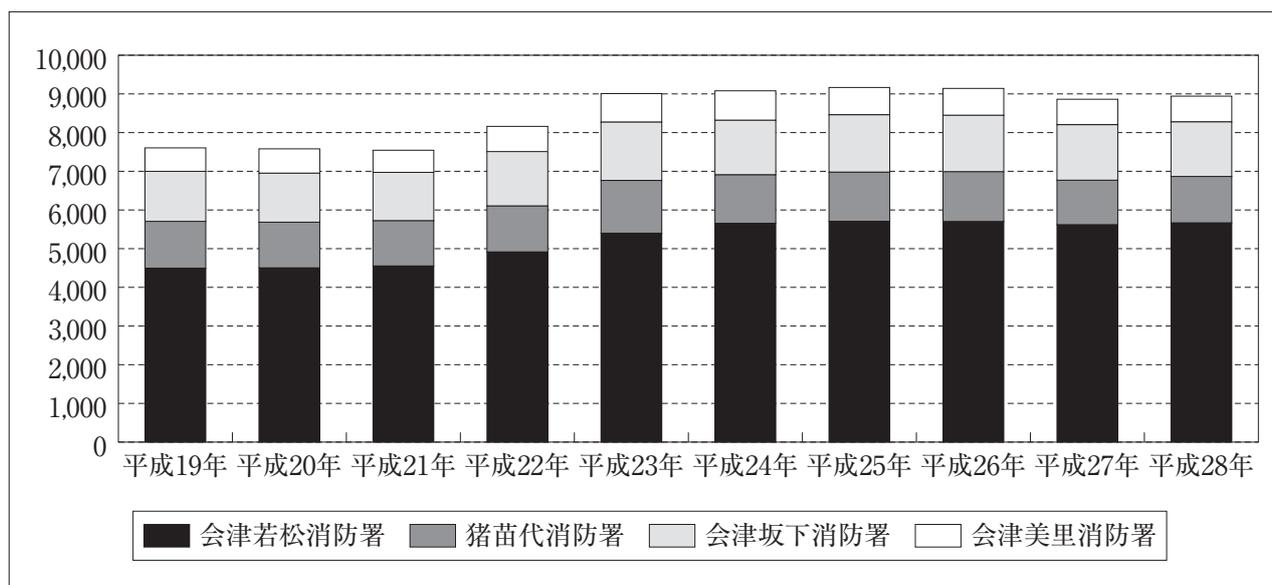
概 要

平成28年中における救急出場状況は、総出場件数8,942件、前年と比較して出場件数で80件の増、搬送人員で113人の増で、出場件数、搬送人員ともに増加し、1日約24.4件（前年24.3件）の救急事故が発生、約59分に1件の割合で救急隊が出場したことになり、広域圏内住民の約21人に1人が救急車で搬送されたことになる。

救急自動車による搬送の原因となった事故種別によると、急病事故が6,218件（69.5%）、交通事故が692件（7.7%）などとなっている。

全国の平成27年中の救急自動車による救急搬送の原因となった事故種別と比較して、急病が349万1,374人（63.7%）、交通事故が49万797人（9.0%）などとなっていることから、割合的にはほぼ変わらない水準と言える。

最近10年間の救急出場件数の推移（署管内別）

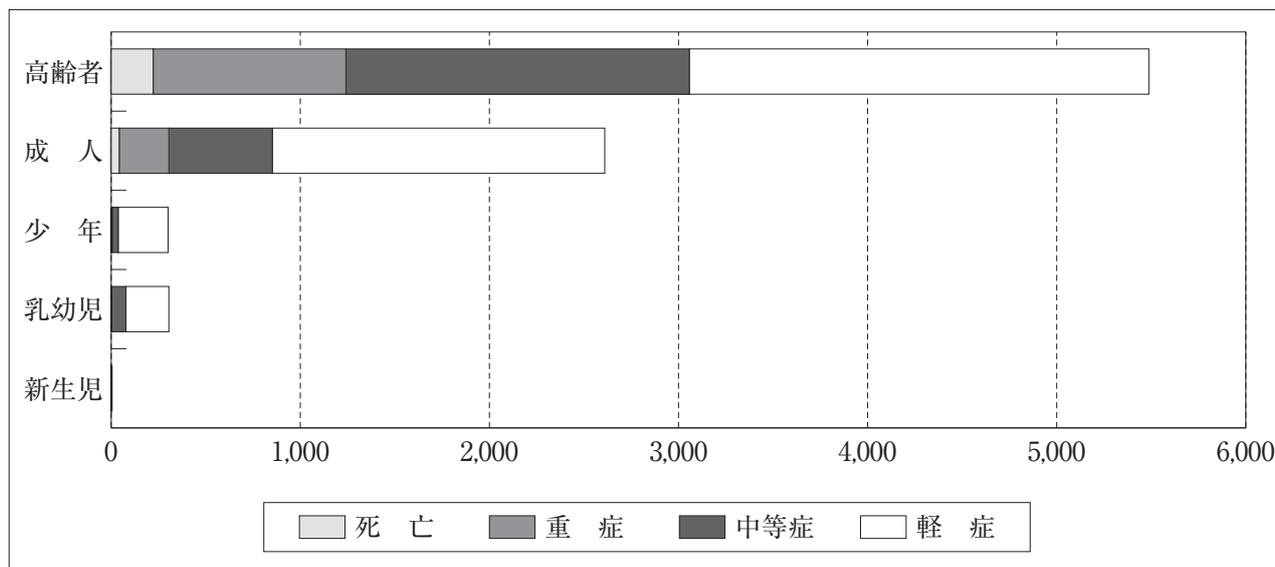


	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
会津若松消防署	4,490	4,501	4,551	4,913	5,400	5,653	5,703	5,697	5,615	5,663
猪苗代消防署	1,215	1,183	1,169	1,189	1,363	1,254	1,273	1,291	1,153	1,203
会津坂下消防署	1,293	1,266	1,252	1,407	1,507	1,411	1,484	1,458	1,436	1,410
会津美里消防署	607	630	572	652	738	762	706	696	658	666
合 計	7,605	7,580	7,544	8,161	9,008	9,080	9,166	9,142	8,862	8,942

過去10年間をみると、平成28年は平成19年の約1.2倍（1,337件の増）となっており、圏域内住民の約21人に1人が利用したことになる。

傷病程度別・年齢区分別搬送人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日



※高齢者：満65歳以上の者
 成人：満18歳以上満65歳未満の者
 少年：満7歳以上満18歳未満の者
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
 新生児：生後28日未満の者

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡			1	42	222	265
重症		3	4	263	1,019	1,289
中等症	4	75	32	547	1,816	2,474
軽症		227	264	1,758	2,430	4,679
合計	4	305	301	2,610	5,487	8,707

※死亡：初診時において死亡が確認されたもの
 重症：3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：3週間未満の入院加療を必要とするもの
 軽症：入院加療を要しないもの

- 1 年齢別搬送人員は、高齢者の搬送割合が約63.0%と、約6割を占め年々増加傾向にある。
- 2 入院加療を必要としない軽症傷病者の割合は、約53.7%を占めている。
- 3 傷病程度については、成人の中等症以上の割合が約33%であるのに対し、高齢者は約56%となっている。

救急

市町村別救急出場件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

	出 場 件 数														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松市	15		3	432	35	38	703	27	66	3,906	186			52	5,463
磐梯町				22	4		34		1	108	27			1	197
猪苗代町		1	1	82	10	6	146	4	8	525	83			2	868
会津坂下町	1			64	5	8	102	1	5	479	65			3	733
湯川村				9	1	1	25			92				3	131
柳津町				14		1	39		3	172	4				233
三島町				4	4		12		2	72	46				140
金山町				9	1	1	22		1	92	4			1	131
昭和村				2		1	15			55	28				101
会津美里町	2			36	2	3	116		10	710	32			6	917
高速道路 管轄外	1			17			1			7					26
管轄外	1			1											2
合 計	20	1	4	692	62	59	1,215	32	96	6,218	475	0	0	68	8,942

市町村別救急搬送人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

	搬 送 人 員														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松市	12		3	492	34	38	673	26	53	3,779	186			5	5,301
磐梯町				19	4		30			106	27			1	187
猪苗代町		1		104	10	6	138	4	6	511	83				863
会津坂下町	1			73	5	8	97	1	5	464	65				719
湯川村				10	1	1	24			88					124
柳津町				19		1	37		3	170	4				234
三島町				5	6		10		1	67	46				135
金山町				10	1	1	22			92	4				130
昭和村				2		1	13			55	28				99
会津美里町	1			40	2	3	109		9	693	32			2	891
高速道路 管轄外				17			1			6					24
管轄外															0
合 計	14	1	3	791	63	59	1,154	31	77	6,031	475	0	0	8	8,707

署所別救急出場件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

	出 場 件 数														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松消防署	10			200	15	10	337	20	32	1,766	71			35	2,496
城南分署	3		1	133	9	21	240	5	25	1,504	60			10	2,011
小松出張所	3			56	5	5	78	2	9	420	18			4	600
十文字出張所	1			44	4	4	77		1	377	43			5	556
猪苗代消防署		1	2	80	10	6	143	4	8	503	82			2	841
磐梯出張所	1		1	49	5	1	55		1	220	27			2	362
会津坂下消防署	2			70	7	7	107	1	5	528	63			5	795
柳津出張所				13	1	1	35		3	158	7				218
三島出張所				8	3		16		2	99	43				171
金山出張所				5	1	1	21		1	92	4			1	126
昭和出張所				4		1	15			52	28				100
会津美里消防署				30	2	2	91		9	499	29			4	666
合 計	20	1	4	692	62	59	1,215	32	96	6,218	475	0	0	68	8,942

署所別救急搬送人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

	搬 送 人 員														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松消防署	7			219	15	9	327	19	26	1,702	71			5	2,400
城南分署	3			156	8	21	225	5	19	1,460	60				1,957
小松出張所	2			71	5	5	74	2	8	406	18			1	592
十文字出張所	1			48	4	5	74		1	366	43				542
猪苗代消防署		1	1	97	10	6	135	4	6	490	82				832
磐梯出張所			2	49	5	1	51			214	27			1	350
会津坂下消防署	1			81	7	7	100	1	5	511	63				776
柳津出張所				19	3	1	34		3	156	7				223
三島出張所				9	3		16		1	94	43				166
金山出張所				7	1	1	20			92	4				125
昭和出張所				3		1	13			52	28				97
会津美里消防署				32	2	2	85		8	488	29			1	647
合 計	14	1	3	791	63	59	1,154	31	77	6,031	475	0	0	8	8,707

救
急

現場到着所要時間別出場件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日
(覚知から現場到着までの所要時間)

		3分未満	3～5分	5～10分	10～20分	20分以上	合 計	最短	最長	平均
火	災			5	12	3	20	5	31	14
自 然	災 害			1			1	7	7	7
水	難				2	2	4	13	23	17
交	通	10	24	365	235	58	692	1	49	10
労 働	災 害		4	35	17	6	62	4	40	10
運 動	競 技	1	2	40	16		59	1	19	8
一 般	負 傷	30	67	696	375	47	1,215	1	62	9
加	害		1	25	5	1	32	4	21	8
自 損	行 為	1	2	56	28	9	96	2	37	10
急	病	161	295	3,831	1,749	182	6,218	1	73	8
そ の 他	転 院 搬 送	6	159	262	42	6	475	2	27	6
	医 師 搬 送									
	資 器 材 等 輸 送									
	そ の 他	2	7	34	23	2	68	1	25	9
合 計		211	561	5,350	2,504	316	8,942			8

収容所要時間別搬送人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日
(覚知から病院到着までの所要時間)

		10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上	合 計	最短	最長	平均
火	災			3	8	3		14	21	79	43
自 然	災 害				1			1	33	33	33
水	難					3		3	63	88	79
交	通		10	202	462	117		791	17	115	42
労 働	災 害		3	24	21	15		63	18	94	40
運 動	競 技		2	16	38	3		59	14	89	36
一 般	負 傷		38	392	601	120	3	1,154	15	128	38
加	害			8	21	2		31	23	82	39
自 損	行 為		1	17	50	9		77	17	86	40
急	病	1	299	2,443	2,854	417	17	6,031	8	225	35
そ の 他	転 院 搬 送		28	148	251	45	3	475	16	125	39
	そ の 他		1	1	6			8	17	49	33
合 計		1	382	3,254	4,313	734	23	8,707			36

応急手当普及啓発状況

救命講習等受講者数（過去5年間）

	普通救命Ⅰ	普通救命Ⅱ	普通救命Ⅲ	上級救命	その他の講習	救急入門コース	合計
平成24年	3,431	64	38	7	1,467	345	5,352
平成25年	2,628	75	58	8	2,372	747	5,888
平成26年	2,893	54	54	7	1,669	1,267	5,944
平成27年	2,623	46	107		1,597	1,072	5,445
平成28年	2,435	31	136		1,744	1,250	5,596

- 1 応急手当の普及については、国の通知に基づき当消防本部が「会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部応急手当の普及啓発活動推進に関する実施要綱」を制定し啓発活動に取り組んでおり、平成28年は5,596人が救命講習等を受講した。
- 2 応急手当の方法は、5年に1度世界的に見直しが行われているところであり、ガイドライン2010の公表により、日本版ガイドラインも平成24年に見直されたことに伴い、当消防本部実施要綱にも改正が加えられた。
- 3 ガイドライン2010により、それまで主に成人を主体に実施されていた応急手当に「普通救命講習Ⅲ」として「小児・乳児」を対象とした講習会が新設された。
- 4 ガイドライン2010より、「救命入門コース」が新設された。これは、時間的な制約や年齢などのため、従来型の講習への参加が難しい住民を対象とするものであり、併せて普通救命講習へ繋げるための講習である。
- 5 上記の救命講習等の他、「応急手当普及員講習」を実施し、事業所等における応急手当の指導者を養成し、「応急手当普及員」として応急手当の普及に取り組んでいる。

応急手当推進事業所認定数（過去10年間）

	会津若松消防署管内	猪苗代消防署管内	会津坂下消防署管内	会津美里消防署管内	合計
平成19年	10	9	9		28
平成20年	16	10	2	4	32
平成21年	4	10	5	9	28
平成22年	46	3	22	9	80
平成23年	27	9	11	11	58
平成24年	32	5	9	4	50
平成25年	6		4	1	11
平成26年	1		1	1	3
平成27年	4	12	14	1	31
平成28年	5	5	6	1	17

- 1 応急手当推進事業所の認定は、圏域内における応急手当の普及と救命率の向上を目的として、当消防本部が行う事業である。一定の条件を満たす事業所には、消防本部消防長より認定証が交付される。事業開始から平成28年までに、386の事業所が認定を受けている。
- 2 認定要件は以下のとおり
 - (1) 実施要綱に定める講習会を修了した者が、従業員数が30人未満の事業所にあつては、1人以上、従業員数が30人以上の事業所にあつては、2人以上とする。
 - (2) 自動体外式除細動器（AED）を設置し、営業時間又は開場時間に常時前号の講習会を修了した者が勤務している事業所。また、付近であった事故等においてもAEDの貸出しを実施している。

心肺蘇生法

倒れた人の意識がない！！



大声で叫び応援を呼ぶ。

119番通報およびAEDを現場に届けてもらうよう協力を求める。



直ちに胸骨圧迫を開始

強く・早く・絶え間なく



AEDによる電気ショックが

**必要な場合
ショック1回**

必要がない場合

その後ただちに胸骨圧迫再開

ただちに胸骨圧迫再開



その後は、救急隊に引き継ぐまでAEDの指示に従い上記を繰り返す。

平成28年度 導入車両

高規格救急車



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタハイエース 会津若松消防署配置
- 型式/CBF-TRH226S
 - 全長/5,650mm 全幅/1,890mm 全高/2,490mm 車両総重量/3,245kg
 - 排気量/2,690cc 定員/7名 駆動方式/4WD
 - 艤装/トヨタテクノクラフト

高規格救急車



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタハイエース 会津美里消防署配置
- 型式/CBF-TRH226S
 - 全長/5,650mm 全幅/1,890mm 全高/2,490mm 車両総重量/3,245kg
 - 排気量/2,690cc 定員/7名 駆動方式/4WD
 - 艤装/トヨタテクノクラフト

機
械

消防ポンプ自動車 CD-I 型



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタダイナ 猪苗代消防署配置
- | | | | | |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 型式/TKG-XZU685 | <input type="checkbox"/> 全長/5,830mm | <input type="checkbox"/> 全幅/1,910mm | <input type="checkbox"/> 全高/2,760mm | <input type="checkbox"/> 車両総重量/5,905kg |
| <input type="checkbox"/> 排気量/4,000cc | <input type="checkbox"/> 定員/5名 | <input type="checkbox"/> 駆動方式/4WD | <input type="checkbox"/> 艀装/GMいちほら | |

消防ポンプ自動車 CD-I 型



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタダイナ 会津坂下消防署三島出張所配置
- | | | | | |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 型式/TKG-XZU685 | <input type="checkbox"/> 全長/5,830mm | <input type="checkbox"/> 全幅/1,910mm | <input type="checkbox"/> 全高/2,760mm | <input type="checkbox"/> 車両総重量/5,905kg |
| <input type="checkbox"/> 排気量/4,000cc | <input type="checkbox"/> 定員/5名 | <input type="checkbox"/> 駆動方式/4WD | <input type="checkbox"/> 艀装/GMいちほら | |

救急普及啓発広報車



機
械

- ◆諸元表◆
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 車名 日産シビリアン | 消防本部配置 | | |
| <input type="checkbox"/> 型式/ABG-DVW4 | | | |
| <input type="checkbox"/> 全長/5,470mm | <input type="checkbox"/> 全幅/2,070mm | <input type="checkbox"/> 全高/2,820mm | <input type="checkbox"/> 車両総重量/4,775kg |
| <input type="checkbox"/> 排気量/4,470cc | <input type="checkbox"/> 定員/7名 | <input type="checkbox"/> 駆動方式/F R | <input type="checkbox"/> 艤装/オートワークス京都 |

消防車両等の配置状況

平成29年4月1日現在

種 別		署 所 別													計
		消 防 本 部	会 津 若 松 消 防 署	城 南 分 署	小 松 出 張 所	十 文 字 出 張 所	猪 苗 代 消 防 署	磐 梯 出 張 所	会 津 坂 下 消 防 署	柳 津 出 張 所	三 島 出 張 所	金 山 出 張 所	昭 和 出 張 所	会 津 美 里 消 防 署	
ポンプ車	普通ポンプ車		2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	14
	水槽付ポンプ車		1	2			1		1					1	6
特殊車	小型動力ポンプ付水槽車		1												1
	普通化学車		1												1
	梯子車		1												1
	救助工作車		1												1
	資材搬送車			1											1
その他の緊急車	無線中継車		1												1
	支援車			1											1
	指揮車	1	1	1			1		1				1	6	
	広報車	1	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
救急車両	高規格救急車		2	2			1		1				1	7	
	普通救急車		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
その他の車両	消火通報訓練車			1										1	
	救急普及啓発広報車			1										1	
	乗用車	4												4	
計		6	14	10	3	3	6	3	7	3	3	3	3	6	70

配 置 車 両 一 覧

平成29年4月1日現在

所属	車名	車種	主要装備			登録年月	車齢 (年.月)
			種別	特殊機装等	機装メーカー		
消防本部	乗用車	トヨタ カローラフィールダー	普通自動車	ハイブリット2WD		平成26年 8月	2年8ヶ月
	乗用車	トヨタ ノア	普通自動車	4WD-AT		平成21年 6月	7年10ヶ月
	乗用車	トヨタ エスティマ	普通自動車	ハイブリット4WD		平成27年 7月	1年9ヶ月
	乗用車	トヨタ ラッシュ	普通自動車	4WD-AT		平成24年 6月	4年10ヶ月
	若松指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成27年11月	1年5ヶ月
	若松広報3	ダイハツ マックス	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成15年10月	13年6ヶ月
会津若松消防署	若松ポンプ1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	2,000ℓ水槽	日本機械	平成 8年12月	20年4ヶ月
	若松ポンプ2	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	ネイチャー	平成22年 3月	7年1ヶ月
	若松ポンプ3	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成18年12月	10年4ヶ月
	若松梯子1	日野 LDG-PR1APBF	30m級はしご付	4WS	モリタ	平成25年10月	3年6ヶ月
	若松水槽1	三菱ふそう グレート	大型水槽車	小型ポンプ付 10,000ℓ水槽	日本造機	平成 7年 2月	22年2ヶ月
	若松救助1	日野 レンジャー	II型救助工作車	クレーン・ウインチ 4WD	帝国繊維	平成19年10月	9年6ヶ月
	若松化学1	日野 レンジャー	化学車	水タンク1,300ℓ 薬剤タンク500ℓ	モリタ	平成25年 3月	4年1ヶ月
	若松指令1	トヨタ レジアスエース	無線中継車	4WD-AT	平和機械機装	平成27年 9月	1年7ヶ月
	若松救急1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成24年 3月	5年1ヶ月
	若松救急2	トヨタ グランビア	高規格救急車	4WD-AT・4WS	トヨタテクノクラフト	平成17年 3月	12年1ヶ月
	若松救急3	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成28年 9月	0年7ヶ月
	若松指揮2	トヨタ サーフ	指揮車	4WD-AT	福島トヨタ	平成17年 4月	12年0ヶ月
	若松広報1	トヨタ サクシード	広報車	4WD-AT	成田	平成25年 8月	3年8ヶ月
	若松広報2	トヨタ カローラフィールダー	広報車	4WD-AT	成田	平成26年10月	2年6ヶ月
城南分署	城南ポンプ1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	2,000ℓ水槽	GMいちはら	平成11年12月	17年4ヶ月
	城南ポンプ2	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本機械	平成 5年10月	23年6ヶ月
	城南ポンプ3	三菱ふそう ファイター	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽	日本造機	平成 6年12月	22年4ヶ月
	城南救急1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成27年10月	1年6ヶ月
	城南救急2	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成20年 2月	9年2ヶ月
	城南指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成23年 7月	5年9ヶ月
	若松支援1	三菱ふそう ローザ	支援車	マイクロバス	三菱ふそう	平成 8年 8月	20年8ヶ月
	若松資材1	トヨタ ダイナ	資材搬送車	4WD	福島トヨタ	平成14年10月	14年6ヶ月
	救急普及啓発広報車	日産 シビリアン	救急普及車	2WD-AT	オートワークス京都	平成28年11月	0年5ヶ月
	消火通報訓練車	マツダ タイタン	消火訓練車	2WD-AT	帝国繊維	平成17年 8月	11年8ヶ月
小松出張所	小松ポンプ1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成25年12月	3年4ヶ月
	小松救急1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成21年 1月	8年3ヶ月
	小松広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	5年6ヶ月
十文字出張所	十文字ポンプ1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成24年 3月	5年1ヶ月
	十文字救急1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成23年 2月	6年2ヶ月
	十文字広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	成田	平成21年 9月	7年7ヶ月

機
械

所属	車名	車種	主要装備			登録年月	車齢 (年.月)
			種別	特殊機装等	機装メーカー		
猪苗代消防署	猪苗代ポンプ1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	GMいちはら	平成12年12月	16年4ヶ月
	猪苗代ポンプ2	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成28年11月	0年5ヶ月
	猪苗代救急1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成25年10月	3年6ヶ月
	猪苗代救急2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成17年 2月	12年2ヶ月
	猪苗代指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	ミツビシテクノ	平成15年11月	13年5ヶ月
	猪苗代広報1	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成16年 9月	12年7ヶ月
磐梯出張所	磐梯ポンプ1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	ネイチヤー	平成25年12月	3年4ヶ月
	磐梯救急1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成18年12月	10年4ヶ月
	磐梯広報1	スズキ ジムニー	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成24年 8月	4年8ヶ月
会津坂下消防署	坂下ポンプ1	三菱ふそう ファイター	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	日本機械	平成15年12月	13年4ヶ月
	坂下ポンプ2	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本造機	平成10年12月	18年4ヶ月
	坂下ポンプ3	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本ドライケミカル	平成 9年12月	19年4ヶ月
	坂下救急1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成25年10月	3年6ヶ月
	坂下救急2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	セントラル自動車	平成11年11月	17年5ヶ月
	坂下指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年 7月	6年9ヶ月
	坂下広報1	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成16年 9月	12年7ヶ月
柳津出張所	柳津ポンプ1	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成20年12月	8年4ヶ月
	柳津救急1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成23年11月	5年5ヶ月
	柳津広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	5年6ヶ月
三島出張所	三島ポンプ1	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成28年11月	0年5ヶ月
	三島救急1	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成15年 9月	13年7ヶ月
	三島広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	5年6ヶ月
金山出張所	金山ポンプ1	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成23年 2月	6年2ヶ月
	金山救急1	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成17年 2月	12年2ヶ月
	金山広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年 9月	6年7ヶ月
昭和出張所	昭和ポンプ1	いすゞ エルフ	CD-I型ポンプ車	4WD	日本機械	平成 8年 1月	21年3ヶ月
	昭和救急1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成18年12月	10年4ヶ月
	昭和広報1	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	成田	平成21年 9月	7年7ヶ月
会津美里消防署	美里ポンプ1	日野 レンジャー	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	GMいちはら	平成25年 3月	4年1ヶ月
	美里ポンプ2	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成24年 2月	5年2ヶ月
	美里救急1	トヨタ グランビア	高規格救急車	4WD-AT・4WS	トヨタテクノクラフト	平成15年11月	13年5ヶ月
	美里救急2	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成28年 9月	0年7ヶ月
	美里指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年 7月	6年9ヶ月
	美里広報1	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成18年10月	10年6ヶ月



通信指令の現況

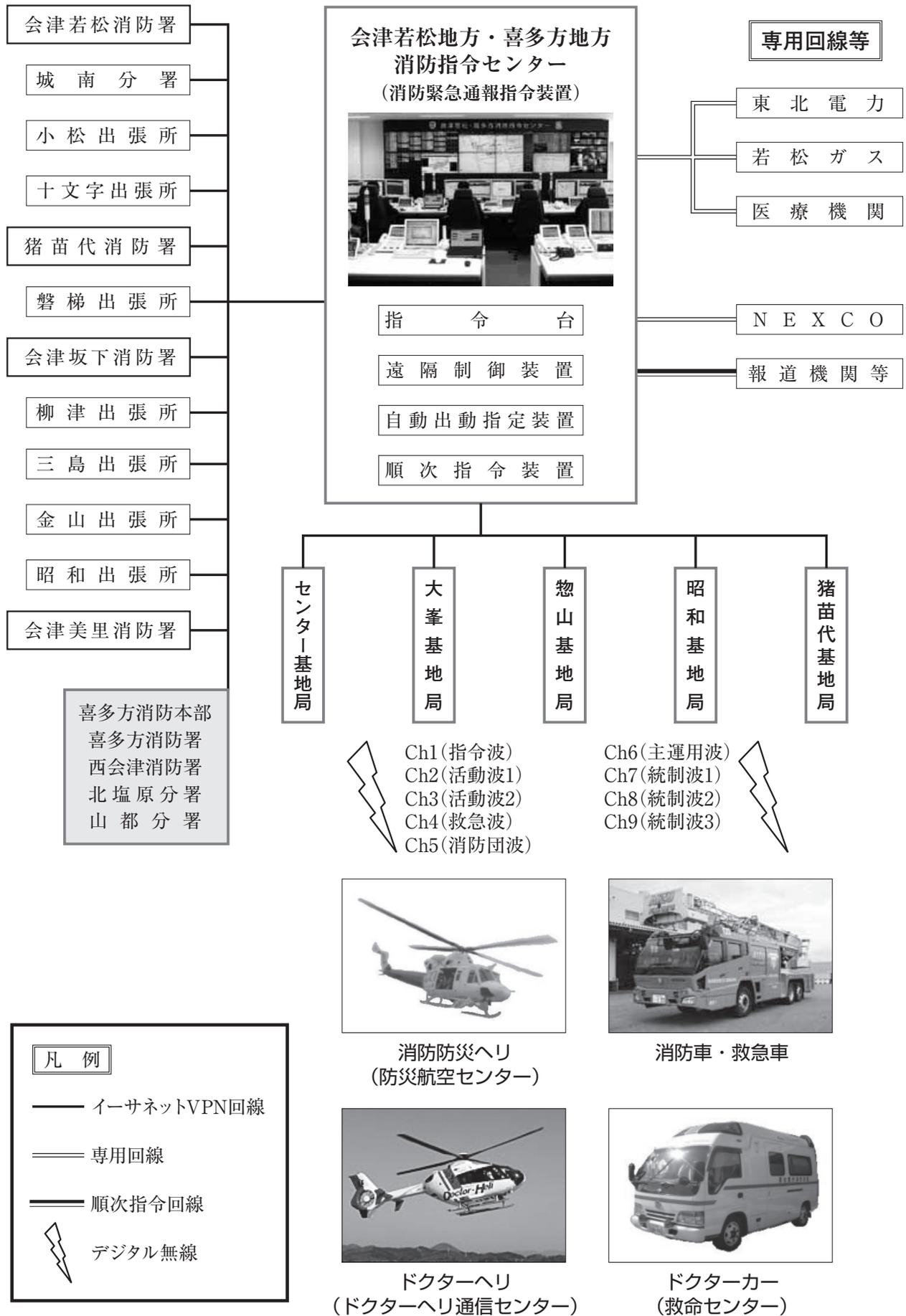
広域化の推進や、消防体制の強化などの目標を掲げ、平成23年度に会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会を設置し、高機能消防指令システムを導入。平成24年3月1日から「会津若松地方・喜多方地方消防指令センター」として運用を開始しております。

災害通報の受信エリアが拡大しましたが、「統合型位置情報通知システム」の導入により、災害地点を特定する時間を大幅に短縮することが可能となりました。

また、最新鋭の通信指令装置機能を活用することで現場到着時間の短縮、現場活動支援の強化、大災害への対応力の強化、情報の集中管理化が従前よりも図られています。

平成28年5月31日の移行期限に向け整備を進めてまいりました「デジタル無線システム」については、平成28年3月1日に本格運用を開始しており、より円滑で確実な通信体系の確立が実現されております。

有・無線通信系統図



通信

通 信 施 設 一 覧

区 分	署 所 別	会津若松地方・ 喜多方地方 消防指令センター (会津若松分)	消防本部	会 津 若 松 消 防 署 管 内			
				会津若松 消 防 署	城 南 分 署	小 松 出張所	十文字 出張所
消防緊急通信指令装置 (Ⅱ型)	統合型位置情報通知装置	1					
	指 令 台	3					
	指 揮 台	1					
	遠 隔 制 御 装 置	3		1			
	指令情報出力装置		1	1	1	1	1
	火災報知専用電話(固定・IP)	8					
	火災報知専用電話(携帯)	4					
	衛星着信専用	1					
	119番回線等録音装置	1					
	消防緊急通報FAX回線	1					
	消防案内テレフォントーキー	1					
	順次指令装置(5回線)	1					
	車両運用端末装置(Ⅲ型)		1	12	8	2	2
	駆込通報装置(監視カメラ含)		1	1	1	1	1
消防OA用パソコン	1	3	5	3	1	1	
データメンテナンスパソコン	3						
消防救急無線	基 地 局	○若消本部 ・指令波 ・活動波1 ・活動波2 ・救急波 ・消防団波 ・主運用波 ・統制波1 ・統制波2 ・統制波3 ○防災会津消防 ・防災相互波 (アナログ)					
	陸上移動局…車載		1	15(※1)	8	3	3
	陸上移動局…携帯		2	10	4	2	2
	陸上移動局(防災相互用)…携帯	1	1	2	1		
	陸上移動局…可搬・卓上		2	1			
	受令機(オートスキャン)		3	2	2	2	2
署活系移動局…携帯		2	15	6	4	4	
衛星携帯電話	1						

※1 うち1局は無線中継車

平成29年4月1日現在

猪苗代消防署管内		会津坂下消防署管内					会津美里 消防署	関係 機関等	合計
猪苗代 消防署	警 梯 出張所	会津坂下 消防署	柳 津 出張所	三 島 出張所	金 山 出張所	昭 和 出張所			
									1
									3
									1
1		1					1		7
1	1	1	1	1	1	1	1	1(※2)	14
									8
									4
									1
									1
									1
									1
5	2	6	2	2	2	2	5	1(※2)	52
1	1	1	1	1	1	1	1		13
3	1	3	1	1	1	1	3		28
									3
○若猪苗代 ・指令波 ・活動波1 ・活動波2 ・救急波 ・消防団波 ・主運用波 ・統制波1 ・統制波2 ・統制波3			○若消大峯 ・指令波 ・活動波1 ・活動波2 ・救急波 ・消防団波 ・主運用波 ・統制波1 ・統制波2 ・統制波3		○若消惣山 ・指令波 ・活動波1 ・救急波 ・主運用波 ・統制波1 ・統制波2 ・統制波3	○若消昭和 ・指令波 ・活動波1 ・救急波 ・主運用波 ・統制波1 ・統制波2 ・統制波3			6
6	3	7	3	3	3	3	6	1(※2)	65
6	2	6	2	2	2	2	6	1(※2)	49
2		2				1	2		12
1	1	1	1			1	1		9
2	2	2	2	2	2	2	2		27
7	4	7	4	4	4	4	7		72
1					1				3

※2 関係機関については、ドクターカー

災害等通報取扱状況（会津若松・喜多方消防指令センター）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

119番通報					
		覚知種別		合計	前年比
		固定119	携帯119		
災害等	火災	69	121	190	35
	救急	7,764	3,283	11,047	▲236
	救助	45	76	121	▲6
	その他災害※1	121	200	321	43
	合計	7,999	3,680	11,679	▲164
災害等以外	いたずら	41	21	62	▲23
	間違い	401	261	662	22
	他消防本部転送※2		20	20	8
	その他※3	2,334	797	3,131	212
	合計	2,776	1,099	3,875	219
覚知別通報件数総計		10,775	4,779	15,554	55

119番以外の通報				
指令センター	覚知種別		合計	前年比
	119以外※4	駆け込みその他※5		
	9	1	14	24
	123	402	356	881
	6	3	6	15
	98	8	70	176
	236	414	446	1,096
	4			4
	50	6		56
	200	488		688
	254	494		748
	490	908	446	1,844

○上記表中の集計結果は各種通報を受け付けた件数であり、通報内容と災害の状況が異なる場合があるため、通報受信件数と実災害件数には相違が発生します。

○各種災害通報件数は同一事案によせられた複数の通報を含む件数を集計しています。

- ※1 「その他災害」…危険物漏洩、安全・支援、自火報鳴動、誤報等をいいます。
- ※2 「他消防本部転送」…119通報受理時に当該事案を管轄する他の消防本部へ転送した件数です。
- ※3 「その他」…119通報による問合せ、無応答の他、回線試験や通報訓練を受理した件数です。
- ※4 「119通報以外」…一般加入電話による通報や関係機関との業務専用回線、無線通信による災害通報等、119通報以外の手段により行なわれた通報をいいます。
- ※5 「その他」…署所の一般加入電話への通報や署所で覚知した災害等をいいます。

災害等通報取扱状況（会津若松消防本部管内）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

119番通報					
		覚知種別		合計	前年比
		固定119	携帯119		
災害等	火災	44	86	130	13
	救急	5,870	2,583	8,453	▲ 48
	救助	37	62	99	▲ 3
	その他災害※1	93	167	260	19
	合計	6,044	2,898	8,942	▲ 19
災害等以外	いたずら	22	17	39	▲ 27
	間違い	296	196	492	12
	他消防本部転送※2		18	18	6
	その他※3	1,699	625	2,324	253
	合計	2,017	856	2,873	244
覚知別通報件数総計		8,061	3,754	11,815	225

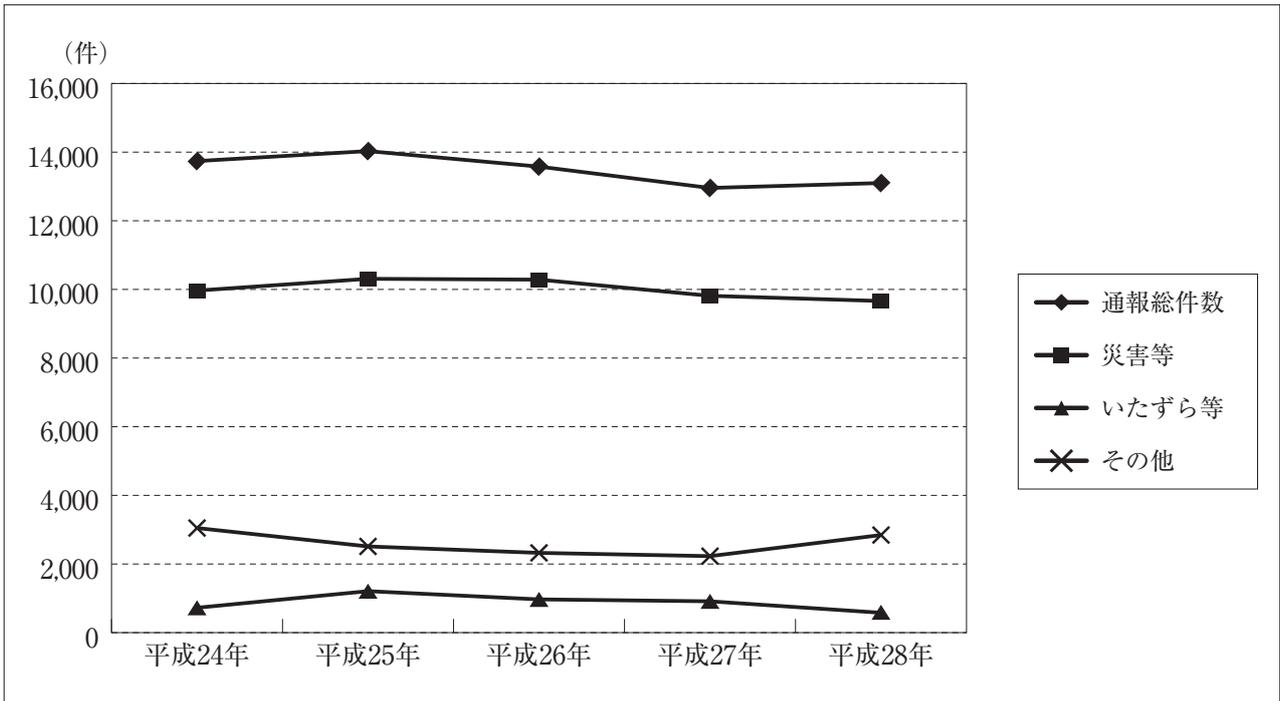
119番以外の通報					
指令センター	覚知種別		合計	前年比	
	119以外※4	駆け込みその他※5			
	8	1	5	14	▲ 2
	107	258	194	559	▲ 115
	5	1	4	10	▲ 5
	85	3	49	137	
	205	263	252	720	▲ 122
	2			2	2
	40	3		43	2
	168	352		520	37
	210	355		565	41
	415	618	252	1,285	▲ 81

○上記表中の集計結果は各種通報を受け付けた件数であり、通報内容と災害の状況が異なる場合があるため、通報受信件数と実災害件数には相違が発生します。

○各種災害通報件数は同一事案によせられた複数の通報を含む件数を集計しています。

- ※1 「その他災害」…危険物漏洩、安全・支援、自火報鳴動、誤報等をいいます。
- ※2 「他消防本部転送」…119通報受理時に当該事案を管轄する他の消防本部へ転送した件数です。
- ※3 「その他」…119通報による問合せ、無応答の他、回線試験や通報訓練を受理した件数です。
- ※4 「119通報以外」…一般加入電話による通報や関係機関との業務専用回線、無線通信による災害通報等、119通報以外の手段により行なわれた通報をいいます。
- ※5 「その他」…署所の一般加入電話への通報や署所で覚知した災害等をいいます。

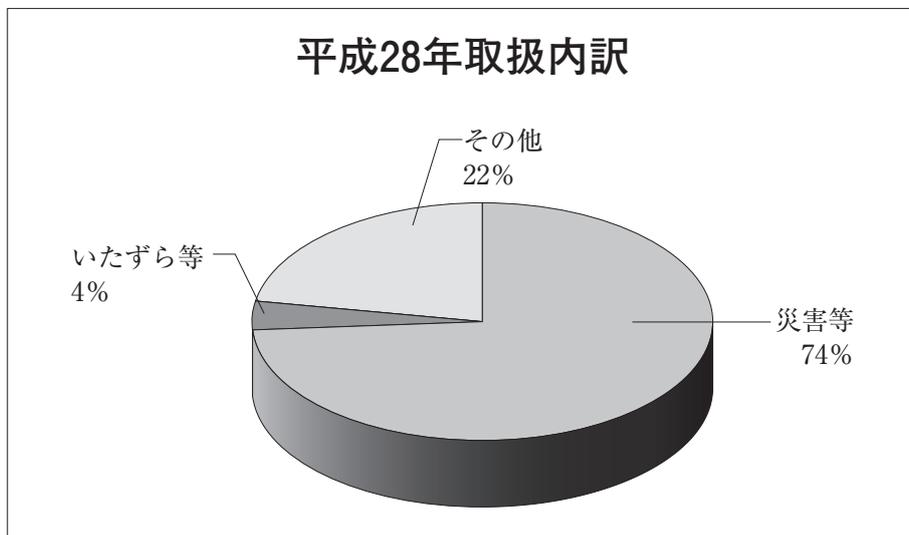
災害等通報取扱の推移（会津若松消防本部管内）



年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
通 報 総 件 数	13,739	14,030	13,578	12,956	13,100
災 害 等	9,966	10,309	10,285	9,814	9,662
いたずら等	725	1,209	969	913	594
そ の 他	3,048	2,512	2,324	2,229	2,844

平成28年中における会津若松消防本部管内の通報総件数は13,100件あり、前年比で144件の増加となりました。

通報総件数に対する取扱の内訳については下表のとおりです。



心肺停止状態における口頭指導状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

	口頭指導件数	バイスタンダー CPR実施件数	病院収容前 心拍再開件数	バイスタンダーCPR実施予後		
				死 亡	重 症	中等症
火 災						
自 然 災 害						
水 難 事 故						
交 通 事 故	1	1		1		
労 働 災 害	1	1		1		
運 動 競 技						
一 般 負 傷	34	29		23	6	
加 害						
自 損 行 為	7	3		3		
急 病	126	87	5	78	7	2
そ の 他						
計	169	121	5	106	13	2

※「バイスタンダー」とは、救急現場に居合わせた人のことをいう。

※「CPR」とは、心肺蘇生法をいう。

通報内容から心肺停止状態と判断される事案のうち、指令課員による口頭指導を実施し、実際にバイスタンダーCPRが行なわれた割合は約7割で心肺停止状態におけるバイスタンダーへの口頭指導の有効性があらわれています。

また、救命講習の受講経験者がバイスタンダーである事例も年々増加してきており、心肺蘇生法普及率の高まりも、バイスタンダーCPRの実施率を向上させている一因と推測されます。

心肺停止状態の場合、一刻も早くCPRを開始することが重要です。今後も更に応急処置や心肺蘇生法の普及啓発を進め、口頭指導を積極的に行い、バイスタンダーCPRの実施率の向上もさることながら、傷病者の病院収容前心拍の再開及び社会復帰率の向上に結びつけていきたいと思っております。

通
信

消防案内電話着信度数（0242-25-1133）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

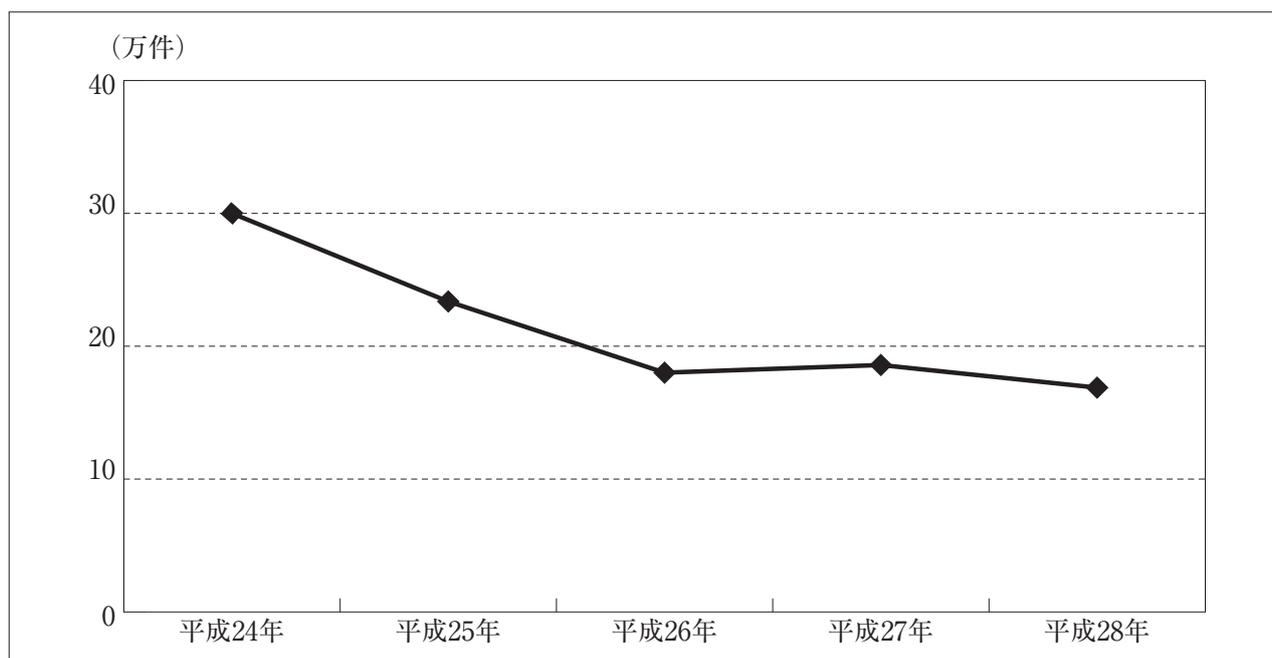
平成28年 月別着信度数

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
度 数	10,118	8,366	18,865	20,650	19,685	21,636	
月 別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
度 数	7,310	17,907	8,550	14,117	10,755	10,864	168,823

年別着信度数の推移

年 別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
度 数	299,984	233,678	180,085	185,852	168,823

年別着信度数の推移



消防案内電話では、災害出動案内のほかに夜間・休日の病院案内も実施しています。

平成28年における案内電話の利用件数は、168,823件と昨年比17,029件の減少となっており、過去5年間の傾向をみると減少傾向にあり、市民情報メールや消防団員情報メール、消防本部ホームページによる情報提供が住民に認知されてきたためと思われます。

緊急回線（119通報）の利用による問い合わせ件数は昨年比30件の増加となっており、今後も消防案内電話やメール配信サービス、ホームページ掲載などの情報提供方法を住民へ周知し、認知度を高めていかなければなりません。

消防団消防用無線設置状況

平成29年4月1日現在

無線機種別等 市町村名	無線設備（無線機台数）		受令機		
	陸上移動局		卓上	車載	携帯
	車載10W	携帯5W			
会津若松市	22	57	1		48
磐梯町	3		1	12	1
猪苗代町	1		1	7	15
会津坂下町	8	11	1	15	4
湯川村	3		1		26
柳津町			1	2	9
三島町			1		3
金山町			1		
昭和村			1		
会津美里町	25	5	4		38
計	62	73	13	36	144

当広域の市町村消防団もアナログ無線からデジタル無線へ移行しました。これに伴い一般的な無線機では傍受できなくなり秘匿性が向上されたことから、より多くの情報を交信することができ、確実で的確な消防活動を行なえるようになりました。



【平成28年 8 月28日 福島県総合防災訓練】

消 防 団 の 現 況

平成29年 4 月 1 日現在、当組合圏域内（1 市 7 町 2 村）の消防団は全10団（分団数 61分団）で、4,423人の団員が地域防災の最前線で活躍しています。

消防団員数・車両装備状況

平成29年4月1日現在

区分 市町村名	消防団員数等											車両装備状況											
	団 数	分 団 数	条 例 定 数	実 員	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 員	部 長	班 長	団 員	水 I A 型	C D I 型	C D II 型	B D I 型	B D II 型	B S I 型	B S II 型	小 型 動 力	ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力	ポ ン プ
計	10	61	4,749	4,423	10	18	70	64	24	155	648	3,434	1	42	1	7	0	0	0	146	388	585	
会津若松市	1	19	1,436	1,338	1	5	19	19	10	59	197	1,028	1	19						24	123	167	
磐梯町	1	4	180	180	1	1	6	4		12	18	138		2						12	3	17	
猪苗代町	1	6	545	530	1	2	9	6		36	84	392		5		1				25	39	70	
会津坂下町	1	7	550	529	1	2	7	7	4		54	454		3		4				15	56	78	
湯川村	1	2	205	190	1	1	2	2	2	12	28	142		2						6	21	29	
柳津町	1	5	270	236	1	1	6	5		5	42	176		2						13	23	38	
三島町	1	2	188	165	1	1	2	2			14	145		1						12	7	20	
金山町	1	3	300	266	1	1	3	3	8	3	28	219		1		1				13	29	44	
昭和村	1	2	180	152	1	1	4	3		3	11	129								11	15	26	
会津美里町	1	11	895	837	1	3	12	13		25	172	611		7	1	1				15	72	96	

消防団員報酬額等の現況

平成29年4月1日現在

区分 市町村名	報酬額							諸手当						
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	出動手当		警 戒 手 当	訓 練 手 当	会 議 手 当	搜索手当	
								火 災	そ の 他				町 内 在 住 者	町 外 在 住 者
平均	190,200	132,800	89,100	67,600	54,750	44,300	26,100	1,488	1,430	1,420	1,443	1,620	1,507	10,000
会津若松市	217,000	144,000	101,000	65,000	52,000	35,000	27,000	1,500	1,500					
磐梯町	190,000	132,000	84,000	70,000	54,000	44,000	32,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000
猪苗代町	184,000	124,000	92,000	67,000	45,000	37,000	32,000		1,000		1,000			
会津坂下町	203,000	150,000	107,000	78,000		45,000	24,000	1,940	1,940		1,940		1,940	
湯川村	196,000	133,000	95,000	80,000	56,000	46,000	26,000	1,500	1,500	1,500	1,500			
柳津町	173,000	124,000	68,000	62,000		47,000	24,000		1,500	1,500	1,500	1,000 ~3,000		10,000
三島町	185,000	118,000	78,000	59,000	59,000	49,000	23,000	1,500		1,500	1,500		1,500	10,000
金山町	181,000	125,000	90,000	71,000	60,000	50,000	26,000		1,500				1,500	10,000
昭和村	185,000	118,000	68,000	52,000	52,000	47,000	23,000		1,500		1,500	1,500	1,500	10,000
会津美里町	188,000	160,000	108,000	72,000	60,000	43,000	24,000			1,600	1,600	1,600	1,600	10,000

単位 (円)

年 齡 別 消 防 団 員 数

平成29年 4 月 1 日現在

区 分 市町村名	計	平均 年齢	20 歳 未 満	20 25 歳 以 上 未 満	25 30 歳 以 上 未 満	30 35 歳 以 上 未 満	35 40 歳 以 上 未 満	40 45 歳 以 上 未 満	45 50 歳 以 上 未 満	50 55 歳 以 上 未 満	55 60 歳 以 上 未 満	60 歳 以 上
合 計	4,423	41.5	14	167	505	932	964	691	376	246	218	310
会津若松市	1,338	39.5	1	31	120	300	301	245	133	81	71	55
磐 梯 町	180	34.5	3	11	33	48	39	33	2	6	3	2
猪 苗 代 町	530	33.9	5	59	89	132	128	72	32	9	4	
会津坂下町	529	35.8		18	71	156	129	105	31	14	4	1
湯 川 村	190	39.3		2	17	31	52	42	28	12	4	2
柳 津 町	236	42.0		2	23	34	50	41	26	29	20	11
三 島 町	165	47.7		1	11	11	23	17	24	18	18	42
金 山 町	266	53.8	1	1	12	17	11	21	30	24	42	107
昭 和 村	152	52.1	2	1	11	10	15	13	11	9	24	56
会津美里町	837	36.8	2	41	118	193	216	102	59	44	28	34

勤 続 年 数 別 消 防 団 員 数

平成29年 4 月 1 日現在

区 分 市町村名	計	平均 年数	5 年 未 満	5 10 年 以 上 未 満	10 15 年 以 上 未 満	15 20 年 以 上 未 満	20 25 年 以 上 未 満	25 30 年 以 上 未 満	30 年 以 上
合 計	4,423	12.8	1,178	1,086	858	540	346	178	237
会津若松市	1,338	10.3	396	324	274	157	100	49	38
磐 梯 町	180	10.6	42	48	34	34	18	1	3
猪 苗 代 町	530	9.1	154	138	126	59	39	10	4
会津坂下町	529	8.3	161	156	120	68	16	7	1
湯 川 村	190	12.3	33	47	37	41	20	8	4
柳 津 町	236	15.0	37	37	47	33	33	26	23
三 島 町	165	13.3	30	56	16	16	19	13	15
金 山 町	266	16.6	34	32	16	23	43	38	80
昭 和 村	152	23.0	16	23	18	14	18	6	57
会津美里町	837	9.6	275	225	170	95	40	20	12

